

教科	国語総合	科目	現代文	2単位	対象	1年	全科
【年間学習目標】 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。							
【評価の観点】 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて表現や構成を工夫して意見を述べたり、相手の立場をふまえて聞き取り話し合ったりできる。 ・目的に応じた工夫をして書いたり、優れた表現から学んだりすることで、自らの考え方を豊かにすることができる。 ・文章の特徴に留意しながら叙述に即して文章を的確に読み取り、書き手の意図をとらえることができる。 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすることができる。 ・言語文化の特質や自国と他国の文化との関係に気付き、伝統的な言語文化への関心を広げることができる。 							
【使用教材】 教科書：高等学校 改訂版 新訂 国語総合 現代文編（第一学習社） 副教材：クリアカラー国語便覧（数研出版） 読解・評論・小説を読むための 新現代文単語 改訂版（いいずな書店）							
期	考查	単元名	学習内容・自己評価			備考	
1 学期	1 学期 中間 考查	論理的文章	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章、論理的な文章、実用的な文章といった文章の種類やその「表現の特色」に注意して読む。 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・現代文単語 	
	1 学期 期末 考查	文学的文章 論理的文章	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・近現代文学史 ・要約 ・漢字テスト ・現代文単語 	
		夏季休業課題					

2 学 期	2 学 期 中 間 考 査	<p>文学的文章</p> <p>論理的文章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書く。 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要約 ・漢字テスト ・現代文単語
	2 学 期 期 末 考 査	<p>文学的文章</p> <p>論理的文章</p> <p>冬季休業課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりする。 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・近現代文学史
3 学 期	3 学 期 期 末 考 査	<p>文学的文章</p> <p>論理的文章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代文学史 ・現代文単語
<p>【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。</p>				

教科 国語総合	科目 古典	2単位	対象 1年 全	科
---------	-------	-----	---------	---

【年間学習目標】

国語を適切に表現し的確に理解する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

【評価の観点】

- ・ 国語への関心を深め、尊重してその向上を図り、進んで表現、理解するとともに、伝え合おうとする。
- ・ 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞いたりする。
- ・ 自分の考えを深めたり発展させながら、目的に応じて文章を読み取ったり読書に親しんだりする。
- ・ 表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。

【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 新訂 国語総合 古典編 (第一学習社)

副教材 : クリアカラー国語便覧 (数研出版)

これでわかる明快古典文法 (いいずな書店)

これでわかる明快古典文法 必修ノート (いいずな書店)

古文単語330 (いいずな書店)

精説漢文 (いいずな書店)

精説漢文 必修ノート (いいずな書店)

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	1学期中間考查	(古文) 古文入門 説話	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 歴史的仮名遣いを理解する。 ・ 品詞の種類、動詞、係り結びについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習復習の仕方とノートの作り方 ・ 副教材、古語辞典の使い方 ・ 音読の励行
	1学期期末考查	(古文) 物語 (漢文) 訓読に親しむ一・二 漢文を読むために ①・② 故事成語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 歌物語における和歌の役割を理解する。 ・ 和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 ・ 形容詞・形容動詞の種類と活用を理解する。 ・ 助動詞・助詞を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なじみのある故事成語・格言を通して、漢文訓読に親しむ。 ・ 漢文の構造、訓読のきまり書き下し文のきまりを理解する。 ・ 漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てることができるようになる。 <p>話の内容をとらえ、故事成語の現在使われている意味について理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノート提出

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2学期	2学期中間考查	(古文) 随筆	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえ、表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。 用言の復習 助動詞の理解
		和歌と俳諧	<ul style="list-style-type: none"> 和歌特有の表現を理解し、古来から愛されてきた日本の歌に親しむ。 和歌の修辞を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 便覧で文学史を学ぶ。
		(漢文) 史伝	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語の生まれた背景・事情をつかみ、成語もとの意味について理解する。 内容を話の展開に即して理解する。 句形を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート提出
2学期	2学期期末考查	(古文) 日記	<ul style="list-style-type: none"> 日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 内容を構成や展開に即してとらえる。 文章の表現上の特色を理解する。 助動詞、助詞を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。
		(漢文) 史伝	<ul style="list-style-type: none"> 比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読の決まりについて理解する。 訓読の知識を用いて文章を読む。 句形を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート提出
3学期	3学期期末考查	(古文) 軍記物語	<ul style="list-style-type: none"> 構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 表現の特色を理解し、軍記物語に親しむ。 音便、敬語を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。
		(漢文) 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> 中国の自然や、心理を考えさせる。 漢詩のきまりについて理解する。 	
		種々の文章	<ul style="list-style-type: none"> 訓読の知識と句形を理解して、長い文章を読む。 老荘思想と理想郷について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート提出

【学習上の留意点】

「これでわかる明快古典文法必修ノート」や「精説漢文必修ノート」は、長期休業中の課題とする。

「古文単語330」の扱いは、授業で指示する。

授業の進度によって内容が変わることがあります。

教科 地歴・公民 科目 世界史A		2 単位	対象学年・コース 1年 先端サイエンスクラス	
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産を学ぶことにより、歴史をはじめとして、地理・宗教・建築・美術・生態学・衛生学や工学に関係する幅広い知識や価値観を身につける。 ・世界各地で起きている問題を理解し、考えをまとめ、発信する力を身につける。 ・世界遺産を通じて様々な分野に触れることで、興味関心のある領域を認識し、発表 				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査や小テスト、レポートの提出と研究発表などを総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書：『新版世界史A』新訂版 実教出版 副教材：『きほんを学ぶ 世界遺産 100 世界遺産検定3級公式テキスト』第3版 世界遺産検定事務局</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	世界遺産を知ろう 日本の世界遺産 ・世界遺産と日本 ・文化遺産 ・自然遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・3級公式テキストの「世界遺産の基礎知識」を中心に、「世界遺産のもつ顕著な普遍的価値」「ユネスコと世界遺産条約」「世界遺産誕生のきっかけ」について理解する。 ・最新の世界遺産データをもとに、自然遺産・文化遺産からそれぞれの特徴と、登録理由やその歴史的背景について学習する。また、日本の世界遺産と似た特徴をもつ外国の世界遺産についても取り上げ、比較する。 ・基礎知識の一つ「登録基準」について、日本の世界遺産を学びながらその特徴を理解する。 	google earth、スライド等を用いる
	期末考査	世界の様々な世界遺産を見てみよう 感染症と世界遺産 ・ペスト(黒死病) ・公衆衛生と感染予防 ・天然痘と宗教の関わり ・マラリアの歴史と現在	<ul style="list-style-type: none"> ・3級テキスト内にある世界遺産の中から、興味ある世界遺産の一つを選び、世界遺産およびその登録国情報を詳しく調べ、発表する。(登録国について調べることでその国の歴史や文化・風習について知る) ・教科書にある伝染病や感染症についての項目を調べる。・世界の歴史に大きな影響を与え、パンデミックを引き起こした感染症について、関連する世界遺産の歴史とあわせて調べる。 ・日本においても感染症流行により寺社が建立されるなど、世界の歴史とあわせて調べ、理解する。 ・医薬品開発や公衆衛生といったテーマについて、教科横断型で研究し、発表する。 	google earth、スライド等を用いて、研究発表を行う 「生物」との連携

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二学期	中間考查	建築と世界遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの建築様式 ・世界と日本の世界遺産建築 都市計画と世界遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・危機遺産について ・世界遺産とその地域に住む人々の生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシア・ローマの時代から、近代にかけてのヨーロッパの建築について、実際の世界遺産を取り上げながらその特徴を理解する。 ・日本の城や寺社といった建築物を、歴史的背景とあわせて学習し理解する。 ・都市計画とは何か、景観とは何か、その概要について調べ、理解する。 ・世界遺産の理念と、実際にそこに住む人々の日々の暮らし・環境保全等について学び、多角的に意見を出し合う。 	グループディスカッション
二学期	期末考查	世界の宗教と世界遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・世界三大宗教と民俗宗教 ・世界の多様性を守るには 平和と世界遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・負の遺産について 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書にある世界三大宗教と民俗宗教について、宗教の成立とその歴史的背景を学び、関連する世界遺産について理解する。 ・興味ある宗教について、その宗教の特徴を調べ発表する。 ・基礎知識の「申請と登録」について復習をし、エルサレムを取り上げて世界の情勢を知る。 ・「負の遺産」の定義について、世界遺産条約を確認しながら考え理解する。 ・負の遺産と呼ばれる世界遺産の歴史的背景を学びながら、ユネスコの成立とその意義について関連させて理解する。 	「日本史」との連携 google earth、スライド等を用いて、研究発表を行う 「現代社会」との連携
三学期	学年末考查	生物と世界遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の生態系の多様性について ・海の豊かさ、陸の豊かさ ・環境問題と世界遺産 科学技術と世界遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・産業と世界遺産 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界の自然遺産について学び、世界遺産に登録されるに至ったその貴重性や独自の固有性について学び、地球の歴史とその偉大さを理解する。 ・生物の授業や2年次の地理との関連性を考えて、興味がある自然遺産を一つ選び、発表する。 ・日本と世界に存在する、当時の最新技術によって発展した鉱山業や製鉄業について関連する世界遺産を学び、科学の発展と現代について考える。 	「生物」・「地理」・「地学」との連携 google earth、スライド等を用いる
【学習上の留意点】 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の調べ学習および協働作業による発表を行う。 				

教科	公民	科目	現代社会	2 単位	対象学年・コース	1年 全コース
<p>【年間学習目標】 私たちが生活する社会の仕組みについて理解を深め、自分たちを取り巻く現状と今後の課題を学ぶ。 学習内容を踏まえ、周囲に起こる問題に自ら目を向ける姿勢を養う。 入試に対応する基礎力の養成に主眼を置く。</p>						
<p>【評価の観点】 定期考査，休業中の課題，授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>						
<p>【使用教材】 教科書：高等学校 改訂版 現代社会（第一学習社）</p>						
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考		
1 学期	中間考査	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ	<input type="checkbox"/> 経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> 企業・家計・政府の活動，企業の社会的責任について理解する。 <input type="checkbox"/> 企業の活動，株式会社の特徴について理解する。 <input type="checkbox"/> 価格機構のはたらきと市場の失敗について理解する。			
	期末考査	④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化	<input type="checkbox"/> 経済指標を理解し，景気変動と経済成長が生活に与える影響を考察する。 <input type="checkbox"/> 財政のしくみ，租税・財政政策の意義と課題について考える。 <input type="checkbox"/> 資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の高度経済成長やバブル経済の要因について，理解する。 <input type="checkbox"/> 平成不況に対する政策を理解し，日本経済の課題について考察する。 <input type="checkbox"/> 産業構造の変化，経済のサービス化・ソフト化について考察する。			
2 学期	中間考査	⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	<input type="checkbox"/> 労働者が保護される法を学び，雇用事情，労働環境の変化を理解する。 <input type="checkbox"/> 労働問題について，具体的事例をあげて多角的に考察する。 <input type="checkbox"/> 日本の公害と国や企業の対応，環境を保全する方策を考える。 <input type="checkbox"/> 消費者問題について，自分自身の問題として考察する。 <input type="checkbox"/> 消費者主権，企業の責任，国の消費者を保護する対策を理解する。 <input type="checkbox"/> 社会保障の意義を理解し，現代の社会保障の課題について考察する。			
2 学期	期末考査	第6章 国際経済の動向と日本の役割 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②国際経済の動向 ③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割	<input type="checkbox"/> 貿易の意義，円高・円安の生じる理由，経済のグローバル化を考える。 <input type="checkbox"/> 日本の貿易を理解し，貿易の拡大と貿易摩擦について考察する。 <input type="checkbox"/> 地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解する。 <input type="checkbox"/> 南北問題の原因を考え，発展途上国のかかえている問題を理解する。 <input type="checkbox"/> 国際協力のあり方，国際経済の中での日本の役割について考える			

3 学期	学年末 考查	<p>第4章 国際政治の動向と日本の役割</p> <p>①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割</p>	<p><input type="checkbox"/>国際法の意義と役割について、多面的に考察し、理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え、国連の役割と課題について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>国際連合の役割と課題について、理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するためのさまざまな取り組みについて、具体的事例をあげて多角的に考察する。</p> <p><input type="checkbox"/>なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>国境と領土問題、特に日本の領土問題についての知識を身につける。</p> <p><input type="checkbox"/>国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考える。</p>	
その他		<p>第2章 個人の尊重と法の支配</p> <p>①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制</p> <p>第3章 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加</p>	<p>第7章 現代に生きる倫理</p> <p>①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③西洋の自然観と人間観 ④私たちの課題</p> <p>第1編 私たちの生きる社会</p> <p>①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活</p> <p>第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方</p> <p>第1章 現代に生きる青年</p> <p>①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活</p> <p>第3編 とともに生きる社会をめざして</p> <p>「税と社会」 「発展途上国の貧困問題の解決をめざして」 「人口問題と私たちの未来」</p>	3年次の選 択者が問題 演習と並行 して学習す る。
【学習上の留意点】 進度は目安です。進度の都合上、学習単元が前後します。				

教科 理数		科目 理数数学 I α	4 単位	対象学年・コース 先端サイエンス・1年・中入
【年間学習目標】				
*教科書の内容を正確に理解する。				
*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。				
*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学 I, II 副教材 数研出版 クリアー数学 I +A, II +B				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	数学 I 第 2 章 2 次関数 第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式 5 2 次方程式 6 2 次関数のグラフと x 軸の位置関係 7 2 次不等式 第 3 章 図形と計量 第 1 節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	<input type="checkbox"/> 2 次方程式が解けるように、解の公式を積極的に利用できる <input type="checkbox"/> 2 次関数のグラフと x 軸との共有点の個数や位置関係を、 $D = b^2 - 4ac$ の符号から考察することができる <input type="checkbox"/> 2 次関数のグラフと 2 次不等式の間係を理解している <input type="checkbox"/> 式を解きやすい形に変形してから、2 次不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 直角三角形において三角比の値が求められる <input type="checkbox"/> 三角比の相互関係を覚え、相互関係を用いて、三角比の値が求められる <input type="checkbox"/> 三角比の定義を拡張し、直角や鈍角についても考えられる <input type="checkbox"/> 三角方程式（不等式）が解ける <input type="checkbox"/> 鈍角のときも相互関係を用いて、三角比の値を求められる <input type="checkbox"/> 直線の傾きと正接の間係を理解し、直線と x 軸の正の向きとのなす角が求められる	発展／放物線と直線の共有点 研究／絶対値を含む関数のグラフ
	期末考査	第 3 章 図形と計量 第 1 節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用	<input type="checkbox"/> 正弦定理、余弦定理を用いて、三角形の角や辺の長さが求められる <input type="checkbox"/> 三角形の面積の公式を用いた問題が解ける <input type="checkbox"/> 正弦定理・余弦定理・面積の公式などを用いて、空間図形への応用ができる	発展／ヘロンの公式

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二学期	中間考查	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係 第2節 高次方程式 4 剰余の定理と因数分解 5 高次方程式	<input type="checkbox"/> 実部と虚部，複素数の相等の定義を理解できる <input type="checkbox"/> 複素数の四則演算ができる <input type="checkbox"/> 共役な複素数を求める <input type="checkbox"/> 解の公式，判別式が使える <input type="checkbox"/> 解と係数の関係とその逆が使える <input type="checkbox"/> 2次方程式の解を利用して因数分解できる <input type="checkbox"/> 2数を解とする2次方程式を作れる <input type="checkbox"/> 解の存在範囲の問題が解ける <input type="checkbox"/> 剰余の定理，因数定理が使える <input type="checkbox"/> 高次方程式を求める <input type="checkbox"/> 組立除法ができる	研究／組立除法 発展／3次方程式の解と係数の関係
二学期	期末考查	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数	<input type="checkbox"/> 指数法則で実数の範囲まで拡張する <input type="checkbox"/> 指数法則を利用した計算ができる <input type="checkbox"/> 累乗根の定義を理解し、計算ができる <input type="checkbox"/> 指数関数の性質を理解し、平行移動を含めたグラフを描ける <input type="checkbox"/> a^x を含む方程式や不等式が解ける	研究／負の数の n 乗根
三学期	期末考查	第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<input type="checkbox"/> 指数と対数とを相互に書き換える <input type="checkbox"/> 対数の公式を理解し使える <input type="checkbox"/> 対数関数の性質を理解し、平行移動を含めたグラフが描ける <input type="checkbox"/> 対数関数を含む方程式・不等式を解ける <input type="checkbox"/> 対数関数の最大値・最小値を求める <input type="checkbox"/> 常用対数を用いて桁数や日常問題を求める	
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
【年間学習目標】 *教科書の内容を正確に理解する。 *理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 *授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学I, II 副教材 数研出版 クリアー数学I +A, II +B 短期完成 データの分析ノート				
一 学 期	中間 考 査	数学I 第1章 数と式 第1節 式の計算 1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解 第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 第3節 不等式 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ	<input type="checkbox"/> 様々な整式の計算ができる <input type="checkbox"/> 様々な因数分解ができる <input type="checkbox"/> 有理数, 無理数, 実数の区別ができる <input type="checkbox"/> 根号を含む計算や, 有理化ができる <input type="checkbox"/> 1次不等式が解ける	発展/3次式の展開と 因数分解 研究/数直線上の2点 間の距離 発展/2重根号 研究/絶対値と場合分 け 研究/3つの集合の共 通部分と和集合
	期末 考 査	2 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定 第3節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式 6 2次関数のグラフと x 軸の位置関係 7 2次不等式	<input type="checkbox"/> 平方完成して, グラフがかける <input type="checkbox"/> グラフの平行移動や対称移動ができる <input type="checkbox"/> 2次関数の最大値, 最小値を求める <input type="checkbox"/> 場合分けの問題が解ける <input type="checkbox"/> 条件から関数を求める <input type="checkbox"/> 2次方程式を解ける <input type="checkbox"/> 判別式を理解し使える <input type="checkbox"/> 2次関数と2次方程式の関係を理解する <input type="checkbox"/> 2次関数のグラフと x 軸との共有点の個数 や位置関係を, 判別式から考察できる <input type="checkbox"/> 2次関数と2次不等式の関係を理解する <input type="checkbox"/> 2次不等式が解ける <input type="checkbox"/> 絶対値を含む関数のグラフがかける	研究/ $\sqrt{2}$ が無理数であ る事の証明 発展/「すべて」と 「ある」の否定 研究/グラフの平行移 動・対称移動 発展/放物線と直線の 共有点 研究/絶対値を含む関 数のグラフ

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間 考 査	第4章 図形と計量 第1節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 第2節 三角形への応用 4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用	<input type="checkbox"/> 直角三角形において三角比の値が求められる <input type="checkbox"/> 三角比の相互関係を利用できる <input type="checkbox"/> 三角比の定義を拡張し、直角や鈍角についても考えられる <input type="checkbox"/> 三角方程式（不等式）が解ける <input type="checkbox"/> 直線の傾きと正接の関係を理解する <input type="checkbox"/> 正弦定理、余弦定理を利用できる	
二 学 期	期 末 考 査	7 三角形の面積 8 空間図形への応用 第5章 データの分析 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 データの相関 数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係 第2節 高次方程式 4 剰余の定理と因数分解 5 高次方程式	<input type="checkbox"/> 三角形の面積の公式を用いた問題が解ける <input type="checkbox"/> 三角比の各種定理・公式を空間図形への応用できる <input type="checkbox"/> 度数分布表・ヒストグラムが作れる <input type="checkbox"/> 平均値・最頻値・中央値・四分位数が求められる <input type="checkbox"/> 箱ひげ図がかけ、データが読み取れる <input type="checkbox"/> 分散・標準偏差が求められる <input type="checkbox"/> 散布図からデータの相関関係が読み取れる <input type="checkbox"/> 実部と虚部、複素数の相等の定義を理解できる <input type="checkbox"/> 複素数の四則演算ができる <input type="checkbox"/> 共役な複素数を求める <input type="checkbox"/> 解の公式、判別式が使える <input type="checkbox"/> 解と係数の関係とその逆が使える <input type="checkbox"/> 2次方程式の解を利用して因数分解できる <input type="checkbox"/> 2数を解とする2次方程式を作れる <input type="checkbox"/> 剰余の定理、因数定理が使える <input type="checkbox"/> 高次方程式を求める	発展／ヘロンの公式 研究／正四面体の体積 研究／変量の変換 研究／組立除法 発展／3次方程式の解 と係数の関係
三 学 期	期 末 考 査	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数 第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<input type="checkbox"/> 指数法則で実数の範囲まで拡張する <input type="checkbox"/> 指数法則を利用した計算ができる <input type="checkbox"/> 累乗根の定義を理解し、計算ができる <input type="checkbox"/> 指数関数の性質を理解し、平行移動を含めたグラフを描ける <input type="checkbox"/> a^x を含む方程式や不等式が解ける <input type="checkbox"/> 指数と対数とを相互に書き換える <input type="checkbox"/> 対数の公式を理解し使える <input type="checkbox"/> 対数関数の性質を理解し、平行移動を含めたグラフを描ける <input type="checkbox"/> 対数関数を含む方程式・不等式を解ける <input type="checkbox"/> 対数関数の最大値・最小値を求める <input type="checkbox"/> 常用対数を用いて桁数や日常問題を求める	研究／負の数の n 乗根
【学習上の留意点】授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 理数 科目 理数数学Iβ		3単位	対象学年・コース 先端サイエンス・1年・中入	
【年間学習目標】				
*教科書の内容を正確に理解する。				
*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。				
*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学I, A, II 副教材 数研出版 クリアー 数学I+A, II+B 短期完成 データの分析ノート				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	数学I 第5章 データの分析 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 データの相関	<input type="checkbox"/> 度数分布表・ヒストグラムが作れる <input type="checkbox"/> 平均値・最頻値・中央値・四分位数が求められる <input type="checkbox"/> 箱ひげ図がかけ、データが読み取れる <input type="checkbox"/> 分散・標準偏差が求められる <input type="checkbox"/> 散布図からデータの相関関係が読み取れる	研究/変数の変換
	期末考査	数学A 第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 1 約数と倍数 2 最大公約数・最小公倍数 3 整数の割り算と商・余り 第2節 ユークリッド互除法 4 ユークリッドの互除法 5 1次不定方程式 第3節 整数の性質の活用 6 分数と小数 7 n進法	<input type="checkbox"/> 倍数の判定法を理解するとともに、素因数分解を用いて約数の個数や総和を求められる <input type="checkbox"/> 最大公約数、最小公倍数、互いに素について理解し、利用することができる <input type="checkbox"/> 剰余類について理解し、利用することができる <input type="checkbox"/> 合同式を用いて、問題が解ける <input type="checkbox"/> ユークリッドの互除法を理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求められる <input type="checkbox"/> 1次不定方程式の解が求められる <input type="checkbox"/> 分数が有限小数または無限小数で表される仕組みを理解する <input type="checkbox"/> 10進法を2進法に直せる <input type="checkbox"/> n進法の仕組みを理解し、n進法で表された数の簡単な四則計算ができる	研究/等式を満たす整数x, yの組 研究/最大公約数・最小公倍数の性質 研究/自然数の積と素因数の個数 研究/和, 差, 積の余り 発展/合同式
二 学 期	中間考査	数学II 第1章 式と証明 第1節 式と計算 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 整式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	<input type="checkbox"/> 二項定理が利用できる <input type="checkbox"/> 多項式の割り算ができる <input type="checkbox"/> 除法に関する等式を理解する <input type="checkbox"/> 分数式の四則演算ができる <input type="checkbox"/> 恒等式の係数の決定と証明ができる <input type="checkbox"/> 条件式を利用し、等式を証明できる <input type="checkbox"/> 実数の性質, 平方の大小, 絶対値の性質, 相加平均・相乗平均の大小関係を利用して、不等式の証明ができる	研究/ $(a+b+c)^n$ の展開式 研究/代入による恒等式の係数決定

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期 末 考 査	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 第2節 円 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円	<input type="checkbox"/> 2点間の距離, 内分点, 外分点, 三角形の重心, 対称な点などを求める <input type="checkbox"/> 2直線の平行, 垂直条件が分かる <input type="checkbox"/> 直線に関して対称な点を求める <input type="checkbox"/> 点と直線の距離公式が使える <input type="checkbox"/> 円の方程式と円の接線の方程式が作れる <input type="checkbox"/> 2つの円の交点を通る円の方程式や直線の方程式, 共有点を求める	研究/2 直線の交点を通る直線 研究/2 つの円の交点を通る図形
三 学 期	期 末 考 査	第3節 軌跡と領域 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	<input type="checkbox"/> 軌跡の方程式を求める <input type="checkbox"/> 不等式の表す領域が図示できる <input type="checkbox"/> 2変数関数の最大値・最小値を求める	研究/放物線を境界線とする領域
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 理数 科目 理数数学Iβ		3単位	対象学年・コース 先端サイエンス・1年・高入	
【年間学習目標】				
*教科書の内容を正確に理解する。				
*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。				
*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学A, II 副教材 数研出版 クリアー 数学I+A, II+B				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	数学I 第2章 集合と命題 1 集合 2 命題と条件 3 命題と証明 数学A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ	<input type="checkbox"/> 部分集合、共通部分、和集合、空集合、補集合について理解する <input type="checkbox"/> 命題の真偽を、集合の包含関係に結びつける <input type="checkbox"/> ド・モルガンの法則を理解・利用できる <input type="checkbox"/> 必要条件、十分条件、必要十分条件、同値、逆・裏・対偶の定義を理解する <input type="checkbox"/> 対偶による証明法や背理法を利用し、命題を証明できる <input type="checkbox"/> 和の法則、積の法則を利用して考えられる <input type="checkbox"/> 順列・組合せの違いを理解することができる <input type="checkbox"/> 円順列、重複順列を考えられる <input type="checkbox"/> 同じものを含む順列・組合せの総数を求められる	研究／重複を許して作る組合せ
	期末考査	第2節 確率 5 事象と確率 6 確率の基本性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率	<input type="checkbox"/> 試行の結果を事象としてとらえ、集合と結びつけて考えられる <input type="checkbox"/> 確率の意味、試行や事象、確率の定義を理解している <input type="checkbox"/> 確率の基本性質を理解し、積事象、和事象、余事象などの確率を求められる <input type="checkbox"/> 集合を活用し、複雑な事象の確率を求められる <input type="checkbox"/> 試行が独立であるかを判断し、その確率を求められる <input type="checkbox"/> 反復試行の意味を理解し、その確率を求められる	研究／原因の確率
二 学 期	中間考査	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 1 約数と倍数 2 最大公約数・最小公倍数 3 整数の割り算と商・余り 第2節 ユークリッド互除法 4 ユークリッドの互除法 5 1次不定方程式 第3節 整数の性質の活用 6 分数と小数 7 n進法	<input type="checkbox"/> 倍数の判定法を理解するとともに、素因数分解を用いて約数の個数や総和を求められる <input type="checkbox"/> 最大公約数、最小公倍数、互いに素について理解し、利用することができる <input type="checkbox"/> 剰余類について理解し、利用することができる <input type="checkbox"/> 合同式を用いて、問題が解ける <input type="checkbox"/> ユークリッドの互除法を理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求められる <input type="checkbox"/> 1次不定方程式の解が求められる <input type="checkbox"/> 分数が有限小数または無限小数で表される仕組みを理解する <input type="checkbox"/> 10進法を2進法に直せる <input type="checkbox"/> n進法の仕組みを理解し、n進法で表された数の簡単な四則計算ができる	研究／等式を満たす整数x, yの組 研究／最大公約数・最小公倍数の性質 研究／自然数の積と素因数の個数 研究／和, 差, 積の余り 発展／合同式

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
二 学 期	期 末 考 査	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 整式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	<input type="checkbox"/> 二項定理が利用できる <input type="checkbox"/> 多項式の割り算ができる <input type="checkbox"/> 割り算の等式($A(x) = B(x)Q(x) + R$)の形を理解する <input type="checkbox"/> 分数式の四則演算ができる <input type="checkbox"/> 恒等式の係数の決定と証明ができる <input type="checkbox"/> 条件式を利用し、等式を証明できる <input type="checkbox"/> 実数の性質、平方の大小、絶対値の性質、相加平均・相乗平均の大小関係を利用して、不等式の証明ができる	研究/ $(a+b+c)^n$ の展開式 研究/代入による恒等式の係数決定
三 学 期	期 末 考 査	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 第2節 円 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円	<input type="checkbox"/> 2点間の距離、内分点、外分点、三角形の重心、対称な点などを求める <input type="checkbox"/> 2直線の平行、垂直条件が分かる <input type="checkbox"/> 直線に関して対称な点を求める <input type="checkbox"/> 点と直線の距離公式が使える <input type="checkbox"/> 円の方程式と円の接線の方程式が作れる <input type="checkbox"/> 2つの円の交点を通る円の方程式や直線の方程式、共有点を求める	研究/2直線の交点を通る直線 研究/2つの円の交点を通る図形
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 理科		科目 理数物理	2 単位	対象学年・コース	1 年 先端サイエンスクラス
<p>【年間学習目標】</p> <p>物理学的思考を身に着ける。 物理現象を理解し、数式を使って説明できる。 物理の問題の「解き方を記憶する」のではなく、「解き方を理解」し「問題を解く力」を身につける。</p>					
<p>【評価の観点】</p> <p>「定期考査」・「物理学実験」・「授業への取り組む姿勢」で評価する。</p>					
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 : 物理基礎 (第一学習社) 副教材 : ネオパルノート物理基礎 (第一学習社)</p>					
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考	
第1学期	中間考査	速度 加速度	速度 (スカラーとベクトル) 相対速度 等速直線運動 (V-t グラフ) ◎ 等速直線運動のグラフを読む。 加速度 等加速度直線運動 (V-t グラフと速度の3公式) ◎ グラフ読み方・公式の使い方を覚える。	力学台車 ばねばかり エアートラック テープタイマー	
	期末考査	落体の運動 力と運動	自由落下 (重力加速度) 上方投射 斜方投射 ◎ 運動の様子を把握し、物理的に考える力をつける。 力の表し方 (力とベクトル) 力の合成 ◎ ベクトル表示を覚える。 フックの法則 (ばねと力の大きさ) 運動の3法則 (慣性の法則・運動方程式・作用反作用の法則) ◎ 力を数値化し、計算できるようにする。 張力・摩擦力・圧力・浮力 ◎ 力の問題を解く。	ばねばかり	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
第2学期	中間 考查	仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 弾性エネルギー 力学的エネルギー	仕事 仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 弾性エネルギー 運動エネルギーと弾性エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギー ◎ エネルギーと仕事の関係を理解する。 ◎ エネルギー保存の法則が使える。	
	期末 考查	熱と比熱 波の伝わり方	温度と熱 比熱と熱量 ※水面・弦を例に波動の基礎を固める。 波の速さ・波の振動数・波の周期 横波と縦波	熱量計（熱量の測定） ウェイブマシーン
第3学期	期末 考查	音波 電位・電流	※音を例に波動を考える。 音の3要素（オシロスコープで観察） ◎ 気柱の振動を考える。 ◎ 弦の振動を考える。 電荷・電気量・電流 ◎ 電荷・電気量・電流の概念を理解する。 オームの法則 ◎ 電位差と抵抗と電流の関係を覚える。	オシロスコープ はく検電器 エボナイト棒 バンデグラフ型発電機 電流計 電圧計
【学習上の留意点】				

教科 理数 科目 理数生物	2単位	対象学年・コース 1年 理数科
---------------	-----	-----------------

【年間学習目標】

広く理工系を目指す人材として、他科目の学習と連携しながら、日常生活や社会との関連を意識しつつ、生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験・討論などを行い、生物学・生命科学的に探究する能力や態度を身に付けるとともに、生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

- ・生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を説明できる。
- ・観察・実験・討論などに参加し、科学的な思考から意見や判断を言語化できる。
- ・個人と集団の間で主体的かつ協調的に行動できる。

以上の観点から、定期考査、長期休業中の課題、観察・実験・討論などの報告書と、各種提出課題を含む授業への取り組みの状況から、達成された学習状況を総合的に評価するものとする。

【使用教材】

- ・教科書：本川・谷本ら『生物基礎 改訂版』啓林館。
- ・演習問題：第一学習社編集部編『セミナー生物基礎』第一学習社。
スタディサプリ 通年講座「高1・高2・高3 生物基礎」リクルート。
- ・教科間共通：世界遺産検定事務局『きほんを学ぶ世界遺産 100 世界遺産検定 3級公式テキスト』マイナビ出版。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	中間考査	第1部 生物の特徴 <u>第1章 生物の多様性と共通性</u> 1. 多様な生物と共通性 2. 生物共通の単位—細胞— 3. 個体の成り立ちの多様性 <u>第2章 細胞とエネルギー</u> 1. 生命活動とエネルギー 2. 光合成と呼吸	<input type="checkbox"/> 生物の連続性の視点から生物の多様性と共通性を体系的に理解する。 <input type="checkbox"/> 生物世界にみられる階層構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 真核細胞と原核細胞を比較し、細胞の内部構造を細胞小器官の多様性から理解する。 <input type="checkbox"/> 単細胞生物と多細胞生物の比較から真核生物の多細胞化の過程を考察する。 <input type="checkbox"/> ATP や酵素の構造と機能を理解し、エネルギーに着目して代謝反応の基本を理解する。 <input type="checkbox"/> 共生説を含めて光合成と呼吸を化学的に理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[1]生物の特徴の問題演習により理解の程度を自己評価する。	中学理科「動物の生活と生物の変遷」「生命の連続性」「動物の生活と生物の変遷」に関する理解を基盤とする。 発展事項として電子顕微鏡で見える細胞小器官を扱う場合がある。
	期末考査	第2部 遺伝子とそのはたらき <u>第1章 遺伝情報とDNA</u> 1. 生物と遺伝 2. DNA の構造 3. 遺伝情報とゲノム <u>第2章 遺伝情報の複製と分配</u> 1. 遺伝情報の複製 2. 遺伝情報の分配	<input type="checkbox"/> 遺伝情報を担う物質として DNA の構造と機能について理解する。 <input type="checkbox"/> 核と染色体の構造に基づき代表的な真核生物がもつ遺伝情報とゲノムを理解する。 <input type="checkbox"/> 分子の世界における遺伝情報の分配であるDNA複製の機構を理解する。 <input type="checkbox"/> 細胞の世界における遺伝情報の分配である体細胞分裂と細胞周期をもとに理解する。	中学理科「生命の連続性」に関する理解を基盤とする。 発展事項として核酸の分子構造や遺伝子発現の調節機構、幹細胞やゲノム医療に関する話題を扱う場合がある。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	期末考査(続き)	<u>第3章 遺伝情報とタンパク質の合成</u> 1. 遺伝子の発現とタンパク質 2. タンパク質の合成 3. 遺伝子の発現と維持	<input type="checkbox"/> セントラル・ドグマをもとに遺伝情報の発現の過程をタンパク質合成として説明する。 <input type="checkbox"/> 遺伝子発現の時空間的な制御によって細胞の分化を理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[2]遺伝子とその働きの問題演習により理解の程度を自己評価する。	資料読解による遺伝子に関する科学史や医療診断などに関する最新の話題の理解が期待される。
2学期	中間考査	第3部 生物の体内環境の維持 <u>第1章 体内環境と恒常性</u> 1. 体液とその循環 2. 体液の調節	<input type="checkbox"/> 動物の体内環境と恒常性を関連づけて説明できる。 <input type="checkbox"/> 体液の分類と循環を整理して理解できる。 <input type="checkbox"/> 血液の組成と各成分の構造・機能の特徴を整理して説明できる。 <input type="checkbox"/> 体液の循環と調節にかかわる心臓・肝臓・腎臓の構造・機能をそれぞれ理解する。 <input type="checkbox"/> 水生生物の塩類濃度調節を通して動物がもつ体液調節のしくみについて考察する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[3]生物の体内環境 (1. 体液とその働き) の問題演習により理解の程度を自己評価する。	中学理科「動物の生活と生物の変遷」に関する理解を基盤とする。 思考実験として酸素解離曲線の読み取り, 血液凝固反応の詳細, 尿生成に関わる数値の評価などを行う場合がある。
	期末考査	<u>第2章 体内環境の維持のしくみ</u> 1. 自律神経による調節 2. ホルモンによる調節 3. 自律神経とホルモンの共同作用 <u>第3章 免疫</u> 1. 免疫とは 2. 自然免疫 3. 獲得免疫	<input type="checkbox"/> 自律神経の理解として拮抗的に作用する交感神経と副交感神経を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> ホルモンがはたらくしくみと代表的な内分泌系とホルモンを整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 恒常性維持のためのフィードバック調節について具体例を用いて理解する。 <input type="checkbox"/> 血糖濃度と体温の調節のしくみを整理して理解する。 <input type="checkbox"/> ほ乳動物がもつ免疫担当細胞の多様性と各細胞がもつ機能を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 自然免疫の役割と特徴を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 獲得免疫として体液性免疫と細胞性免疫の役割と特徴をそれぞれ整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[3]生物の体内環境 (2. 体内環境維持のしくみ, 3. 生体防御) の問題演習により理解の程度を自己評価する。	中学理科「動物の生活と生物の変遷」に関する理解を基盤とする。 発展事項として神経細胞の構造, 神経伝達物質, 細胞間の情報伝達のしくみ, 抗体の構造と多様性, 花粉症や拒絶反応のしくみ, 新興感染症を扱う場合がある。 思考実験として糖尿病と血糖濃度調節の数値の評価, 二重免疫拡散法などを扱う場合がある。
3学期	学年末考査	第4部 生物の多様性と生態系 <u>第1章 多様な植生と遷移</u> 1. 植物と環境のかかわり 2. さまざまな植生 3. 植生の遷移	<input type="checkbox"/> 生物と環境から生態系を体系化して理解する。 <input type="checkbox"/> 環境の多様性と生活形をつなげて理解する。 <input type="checkbox"/> 光環境の変化と土壌形成の理解と合わせて陸上の植生と遷移の過程を体系的に理解する。	中学理科「自然と人間」に関する理解を基盤とする。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
3 学 期	学 年 末 考 査 (<u>続</u> <u>ぎ</u>)	<u>第2章 気候とバイオーム</u> 1. バイオーム <u>第3章 生態系のバランスと保全</u> 1. 生態系の成り立ち 2. 物質の循環とエネルギー 3. 生態系のバランスと保全	<input type="checkbox"/> 気候条件と遷移の理解に基づきバイオームの多様性と分布を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 生物間の相互作用として食物連鎖を理解し、生態ピラミッドを用いて定量的に評価する。 <input type="checkbox"/> 炭素、窒素を例に生態系内の物質循環とエネルギーの流れを体系的に理解する。 <input type="checkbox"/> 生態系の変動とバランスについて理解し、人間活動の影響と課題を例示できる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[4]植生の多様性と分布 [5]生態系とその保全の問題演習により理解の程度を自己評価する。	発展事項として、ラウンケルの生活形、気候と地球の科学、暖かさの指数、生態系内の物質収支、生態系の多様性を扱う場合がある。 思考実験として、遷移の資料研究、日本のバイオームの模型作成などを扱う場合がある。

【学習上の留意点】

授業を中心とした学習方法（予習・復習の仕方やデジタル学習材の活用法など）については授業担当教員に確認してください。生物と生命現象の理解と探究には概念や知識のインプットとそれらを活用するアウトプットの両方が必要です。そのために『セミナー生物基礎』を使用する中でインプットの不足や誤りを修正し、実践的なアウトプットにつなげることが求められます。また、環境・医療・農業などの最新の話題に触れ、社会や日常生活とのつながりも理解できることが好ましいです。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
【年間学習目標】 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
【評価の観点】 ・自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 以上の観点から、定期考査、長期休業課題、実験報告書等の成績ならびに授業の取組み状況から評価する。				
【使用教材】 教科書；第一学習社 高等学校 化学基礎 副教材；浜島書店 ニューステージ 化学図表 スタディサプリ 高1・高2化学 <理論編>前編・後編 問題集；第一学習社 セミナー 化学基礎+化学				
1 学 期	中間 考 査	序章 化学と人間生活 1. 人間生活の中の化学 2. 化学とその役割 第I章 物質の構造 第1節 物質の成分と構成元素 1. 物質の成分 2. 物質の構成元素 第2節 原子の構造と元素の周期表 1. 原子の構造 2. 元素の相互関係 第3節 物質と化学結合 1. イオンとイオン結合	<input type="checkbox"/> 日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高める。 <input type="checkbox"/> 日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解する。 <input type="checkbox"/> 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。 <input type="checkbox"/> 物質の分離・精製や元素の確認などの実験方法を通して、単体、化合物及び混合物について理解する。 <input type="checkbox"/> 実験における基本操作と物質を探究する方法を知る。 <input type="checkbox"/> 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 <input type="checkbox"/> 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 <input type="checkbox"/> イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。	※ 学習効果を高めるため、適宜、課題の提出を求めるとともに、小テストを実施する。
	期末 考 査	2. 分子と共有結合 3. 金属と金属結合 4. 結晶の比較 5. 金属の結晶格子	<input type="checkbox"/> 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 分子からなる物質の性質を理解する。 <input type="checkbox"/> 分子の極性や配位結合により、分子の性質が異なることを学ぶ。 <input type="checkbox"/> 金属結合及び金属の性質を理解する。 <input type="checkbox"/> 結晶格子の概念を理解し、代表的な結晶格子について詳しく学習する。 <input type="checkbox"/> 結晶の構造をまとめ、その特徴を理解する。	※ 模型を用いた演習を行う。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
2 学 期	中間考査	第Ⅱ章 物質の変化 第1節 物質質量と化学反応式 1. 原子量・分子量と式量 2. 物質質量 3. 溶解と濃度 4. 状態変化と気体の圧力 5. 化学変化と化学の基本法則	<input type="checkbox"/> 元素の原子量の概念を理解し、分子量、式量を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 <input type="checkbox"/> 物質質量に基づく計算方法に習熟する。 <input type="checkbox"/> 物質の溶解と濃度について学習する。 <input type="checkbox"/> 状態変化に伴う熱運動のエネルギーの変化と、気体の圧力について学習する。 <input type="checkbox"/> 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	※ 非常に大きな(または小さな)数を表す手段として、指数を用いる。 ※ 測定または計算による数値には有効数字が伴う。
	期末考査	第2節 酸と塩基の反応 1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度 3. 中和と塩 4. 中和滴定	<input type="checkbox"/> 酸と塩基の概念を固め、その性質を理解する。 <input type="checkbox"/> 酸、塩基の強弱と電離度の大小関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 水素イオン濃度とpHとの関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 中和反応で生成する塩の性質を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 中和滴定の操作を学び、ビュレット、ホールピペットなどの取り扱い方を知る。 <input type="checkbox"/> 中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	※ 実験・観察は理科の学習を深く学ぶためには不可欠である。
3 学 期	学年末考査	第3節 酸化還元反応 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤の反応 3. 金属のイオン化傾向 4. 酸化還元反応の利用 5. 電池 6. 電気分解	<input type="checkbox"/> 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 <input type="checkbox"/> 酸化剤、還元剤について理解し、代表的な酸化剤と還元剤の反応を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 金属のイオン化傾向に基づく金属の反応性を理解する。 <input type="checkbox"/> 電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解する。 <input type="checkbox"/> 電気分解は、外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。 <input type="checkbox"/> 反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解する。	
【学習上の留意点】 ・学習進度は状況に応じて、変更がある場合がある。また、プリント等を用いた演習を必要に応じて行う。 ・実験・観察は理科の学習の基本であり、重視している。				

教科 英語 科目 コミュニケーション英語 I	3 単位	対象学年・コース 1年 先端サイエンスコース
---------------------------	------	------------------------

【年間学習目標】

- ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

【評価の観点】

定期考査、小テスト、提出物、授業への取り組み、システム英単語テスト等を総合的に評価する。
リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング（4技能）を総合的に評価する。

【使用教材】

- 教科書 『Revised ELEMENT English Communication I』（啓林館）
- 副教材 『Revised ELEMENT English Communication I』 付属CD（啓林館）
- 副教材 『Revised ELEMENT English Communication I』 予習ノート（啓林館）
- 副教材 『必携英単語 LEAP』（数研出版）
- 副教材 『Listening Essentials 1.5』（啓隆社）
- 副教材 『セレクトプラス英語構文 76』（文英堂）

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中 間 考 査	L1 Rakugo in English	〈異文化交流・言語〉 笑いは世界の共通語 桂かい枝の落語論	・英語の5文型 ・to 不定詞と動名詞
		L2 Christian the Lion	〈動物・友情〉 ライオンと人間の絆 200万人が見た感動の実話	・現在完了形 ・受動態 ・分詞の限定用法
	期 末 考 査	L3 Predictions of the Future	〈科学・技術〉 予言は実現した？ 科学者たちが見た未来	・S+V+O（疑問詞節） ・関係代名詞
		L4 Twice Bombed, Twice Survived	〈戦争・平和〉 広島・長崎の二重被爆者 山口さんの平和への思い	・助動詞+受動態 ・強い要望を表す動詞のthat節における動詞の原形 ・過去完了形

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	L5 Umami	〈食文化・健康〉 人々を救う「うまみ」 和食の秘密	・助動詞＋受動態 ・要求・提案などを表す動詞の that 節における動詞の原形 ・関係代名詞の what
		L6 The Story of PlayPumps	〈国際関係・ボランティア〉 国際支援に必要なことは？ 失敗から学ぶ教訓	・関係代名詞の非制限用法 ・形式主語の it
	期 末 考 査	L7 Biomimetics	〈科学・環境〉 自然界に隠れた科学技術のヒント	・現在完了進行形 ・関係副詞 ・形式目的語の it
		L8 The Power of Presentation	〈スピーチ・現代社会〉 伝説の招致プレゼン 成功の秘訣とは	・仮定法過去 ・仮定法過去完了
3 学 期	期 末 考 査	L9 Bopsy	〈障害・人間愛〉 「消防士になりたい」 難病の少年の夢をかなえた人々	・仮定法を含む表現(1) ・仮定法を含む表現(2) ・seem [appear] to do
		L10 Playing the Enemy	〈人権・スポーツ〉 南アフリカの歴史を変えたマンデラとラグビー	・過去完了進行形 ・進行形の受動態 ・分詞構文
		Speed Reading 1～10		
<p>【学習上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定着を図るため、音読活動や Retelling、プレゼンテーションなどを積極的に行う。 ・ Reading Skill と Listening Skill のトレーニングは、適宜行う。 ・ 自主学习（受験勉強の基礎）として英語構文のマスターに年間を通じて取り組む。 				

教科 英語	科目 英語表現 I	3 単位	対象学年・コース 1年 先端サイエンスコース	
【年間学習目標】 ・英文法を項目ごとに系統立てて学び、英語学習の基盤となる文法力を確立し、英文読解や英作文に活用できるようになるとともに、自ら英語で表現できる力を養うことを目指す。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。 リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング（4技能）を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 『Revised Vision Quest English Expression I Advanced』（啓林館） 参考書 『Vision Quest 総合英語』（啓林館） 問題集 『Revised Vision Quest English Expression I Advanced ワークブック（啓林館）』				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中 間 考 査	文の成りたち	<ul style="list-style-type: none"> 文の要素 品詞 句と節 その他の重要事項 	基礎的な文法用語の意味が分かるようにする
		Lesson 1 文の種類	<ul style="list-style-type: none"> 平叙文と一般疑問文 文の種類 (選択疑問文・特殊疑問文・付加疑問文) 命令文・感嘆文 	
		Lesson 2 文型と動詞	<ul style="list-style-type: none"> 5文型（第1・第2・第3文型） 5文型（第4・第5文型） 	
		Lesson 3 時制	<ul style="list-style-type: none"> 基本時制1（現在・過去・未来） 基本時制2（未来） 進行形 未来を表すその他の形式 	
	期 末 考 査	Lesson 4 完了形	<ul style="list-style-type: none"> 完了形1（現在完了・現在完了と副詞） 完了形2 (過去完了・未来完了・完了進行形) 	
		Lesson 5 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 (can, may, must) 助動詞 (will, would, should, ought to, used to) 助動詞+have p. p. 	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	Lesson 6 受動態	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態 ・完了形・進行形の受動態 ・注意すべき受動態 	
		Lesson 7 不定詞	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞（名詞・形容詞・副詞用法） ・意味上の主語 ・原形不定詞 ・不定詞の表す「時」 ・不定詞の態・進行形・省略 	
	期 末 考 査	Lesson 8 動名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞（名詞・形容詞的用法） ・意味上の主語 ・動名詞の表す「時」 ・動名詞・不定詞を目的語に取る動詞 	
		Lesson 9 分詞	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞（限定・叙述用法） ・分詞構文 ・分詞構文の意味 ・独立分詞構文 	
3 学 期	期 末 考 査	Lesson 10 関係詞	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 (who, whom, whose, which, that) ・that が好まれる場合 ・前置詞+関係代名詞 ・継続用法 	
		Lesson 11 比較	<ul style="list-style-type: none"> ・原級・比較級 ・最上級 	
		Lesson 12 仮定法	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・未来を表す仮定法 ・仮定法を使った慣用表現 	
<p>【学習上の留意点】</p> <p>※ 随時、演習問題を配布し、宿題や小テストを行う。</p>				

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので，「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。

教科 芸術		科目 音楽	2 単位	対象学年・コース 1年 全コース
【年間学習目標】 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
【評価の観点】 ・ 音楽に対する興味 ・ 関心表現の技能の向上と曲種に合った表現の工夫 ・ 鑑賞の能力				
【使用教材】 教科書 : 高校生の音楽1 音楽之友社 副教材 : 文理祭合唱楽譜 「未定」				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学期	4	発声の基礎 校歌 二重唄「チェリー」 「A Whole New World」	<input type="checkbox"/> 合唱に適した発声法を理解し、豊かな響きで発声できる。 <input type="checkbox"/> 楽曲の内容を理解し、抑揚のある表現ができる。 <input type="checkbox"/> パートごとに正しい音程で歌唱できる。 <input type="checkbox"/> 音の重なり合いを感じ取りながら合唱できる。	校歌歌唱テスト 二人一組で発表を行う。
	5	文理祭合唱	<input type="checkbox"/> パートごとに正しい音程で歌唱できる。 <input type="checkbox"/> 音の重なり合いを感じ取りながら合唱できる。 <input type="checkbox"/> 歌詞の意味を理解し、感情をこめて表現できる。	文理祭までの期間 継続して練習する。
	6	(文理祭合唱) ボイスアンサンブル「野菜の気持ち」	<input type="checkbox"/> 「ボイスアンサンブル」という表現形態について理解する。 <input type="checkbox"/> 読譜力を向上させる。 <input type="checkbox"/> 言葉の持つ語感を感じ取り、表現に生かす。	グループ発表を行う。
	7	(文理祭合唱)		実技テスト
2 学期	9	文理祭発表 器楽「Smoke on the water」	<input type="checkbox"/> 5人～6人のグループを作り、セッションを行う。キーボード・ガレージバンド等の代替楽器を用いても良い。 <input type="checkbox"/> ロックというジャンルについて理解する。 <input type="checkbox"/> バンドスコアの読み方、各楽器の役割を理解する。 <input type="checkbox"/> キーボード・ドラム等の基本的奏法を理解する。	
	10	(Smoke on the water) 鑑賞 L.v.Beethoven 「交響曲 第9番 二短調」	<input type="checkbox"/> 作曲者、作品の背景について理解する。 <input type="checkbox"/> 交響曲というジャンルについて理解する。 <input type="checkbox"/> ドイツ語の発音を理解し、言語の歌詞の意味から、楽曲の世界観を感じることができる。 <input type="checkbox"/> これまでの学習をもとに作品に対する感想をまとめ、作品の持つ今日的な意味を考察する。	
	11	(Smoke on the water) 歌唱「茶色の小瓶」	<input type="checkbox"/> アカペラでのアンサンブルを行い、音程感やリズム感を養う。	
	12	(Smoke on the water) (交響曲 第9番 二短調)		グループごとに発表を行う。 実技テスト
3 学期	1	グループ発表	<input type="checkbox"/> 3～7人のグループを作る。 <input type="checkbox"/> グループの編成にあった楽譜を作成する。 適切な練習計画を立て、練習を行う。	編成・選曲は自由。 楽譜はグループごとに用意する。
	2	(グループ発表)	<input type="checkbox"/> これまでの学習を生かし、グループ発表を行う。	楽器を使用する場合、各自持参する。
	3	(グループ発表)	<input type="checkbox"/>	
【学習上の留意点】 グループでの表現活動が中心になるので、主体的に練習に取り組む積極的な学習姿勢が期待される。				

高校1年 美術（選択者）

教科 芸術		科目 美術	2 単位	対象学年・コース 1年 全コース
【年間学習目標】 様々な課題の制作を通して、表現することの意味とその楽しさを発見すること。				
【評価の観点】				
<ul style="list-style-type: none"> ◆いかに深く対象物を理解し、観ることができるか。 ◆決められた時間内に、より美しく、丁寧に、自由に、自分の思いを、表現できるか。 ◆自分以外の作品を、理解する努力をし、鑑賞できるか。 ◆与えられた時間を有効に真摯な気持ちで立ち向かえるか。 				
【使用教材】 教科書 : 光村図書美術1				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	4	人物画	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 授業に関する諸注意 (ナイフを使い、鉛筆を削れるようにする。) ◆ 友人の顔 (鉛筆デッサンを通して、人体の成り立ち、立体を平面に移す作業を学ぶ。友人を通して、自己分析する。) 	
	5	エッチング (風景)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 版画の種類、エッチングのプロセス (様々な版画の制作過程を知り、プレス機使用のエッチングの詳細を学ぶ。) ◆ 風景スケッチ(下図) (自分の気に入った場所を探し、構図を考え表現する。) 	文理祭での発表を意識して、制作する。
	6		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 転写 (プレス機での転写を学ぶ) ◆ ニードルによる描画 (細密画に挑戦する。) 	粘り強さの習得。
	7		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 腐食 (銅版の化学変化を学ぶ。) ◆ 刷り (試刷り、本刷りを通し、印刷物の原理を知る。刷りにより、一枚、一枚表情が違う事を知る。) 	サインは必ず鉛筆。
2 学期	9	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 色彩演習 (色の三原色、三要素の理解) ◆ 平面構成、制作の為の下図 (画面中に立体に見える部分を必ず設け、心象を色面でどう表現するか、考える。) 	自力で色を作る楽しさを知る。
	10		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平面構成 (実際に、彩色に入り、時間内にいかに美しく作業できるか、取り組む。) 	二度と同じ色が作れない儂さを知る。
	11	木彫 (抽象立体)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 刃物の取扱説明 (鑿、鋸、万力等、正しい使い方を学ぶ。) ◆ アイディアスケッチ (表現したいものを、形にし、描くことによって、明確にする。) 	怪我をしないよう注意する。
	12		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作 (直方体の長さを変えず、頭にある、抽象の形を、彫りながら、探していく。) 	
3 学期	1		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作 (大胆に、かつ慎重に無駄な部分と必要な部分の判断を極める。) 	
	2		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作 (頭の中の物が、手で触れる物になる、楽しさを学ぶ。) ◆ 仕上げ (紙やすり、ワックスがけ。) 	詰めが甘くならないよう注意する。
	3			
【学習上の留意点】				
制作のための道具を忘れない。美術の時間はナイフで削った鉛筆を使う癖をつける。決められた時間内に制作できるよう工夫する。各自、美術館等に足を運び、美術に慣れ親しむ。				

高校1年 書道（選択者）

教科 芸術		科目 書道 I	2 単位	対象学年・コース 1年 全コース
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 書写と書道の違いを理解し、芸術としての書道が書けるように。 * 臨書を通して基本的な書道の技法を身に付け、創作によって自分の書表現することができるようになること。 * 古典の歴史的背景や書道史を学びながら、それら理解した上で楷書、行書、仮名の運筆法を習得できるようになること。 				
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 毎週授業で書く作品やプリントの提出物によって評価する。 * また、授業の取り組み方や、どの程度上達しているかによって評価する。 				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 : 東京書籍「書道 I」 副教材 : なし</p>				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	4	・用具用材について ・書道と書写の違いと臨書について	・書道で使用する書道の道具文房四宝について説明し、道具の特徴を説明する。 ●中学校までやってきた書写と書道の違いが理解できたか。	片付け方を覚えきれいに道具や教室を利用してもらうようにする。
	5	・楷書の学習 ・九成宮醜泉銘の臨書 ・雁塔聖教序の臨書 ・自書告身の臨書	・書道の基本とされる楷書の古典を臨書することによって、基本的な筆使いを学ぶ。 ・同じ楷書でも、古典によって異なるので、よく鑑賞し感性、芸術的視点が養えるように。 ●楷書の筆使いである三過折ができるようになったか。 ●それぞれの古典の特徴を理解し、その特徴を表現することができたか。	
	6	・硬筆の書き方について	● 硬筆は、丁寧に一点一画を大事に書けているかどうか。	
	7	・漢字仮名交じりの書について	・ 漢字と仮名が調和している作品を創るにはどう書くべきか、文字の配置などについて学ぶ。	
二 学 期	9	・篆刻の学習 1	・篆刻の歴史や知識、彫り方を説明する。 ●篆刻の歴史について、白文の彫り方が理解できたかどうか。	印刀の扱いに気を付ける。
	10	・篆刻の学習 2	・篆刻の仕上げ。	
	11	・行書の学習 ・蘭亭序について	●行書がいつの時代に、どのような過程を経て出来上がったのか、歴史が理解できたか。 ●書聖王羲之について理解できたか。 ●基本的な文字の崩し方や字形を理解し書くことができたか。	
	12	・風信帖の臨書	・三筆の一人空海の書の学び方や書の特徴を説明する。 ●空海が行書の書き方、文字の崩し方を理解し、迷うことなく運筆できたか。	
三 学 期	1	・仮名の学習 ・仮名の単体について ・仮名の連綿について ・変体仮名について	・日本で生み出された仮名の歴史について。 ・仮名の鑑賞をし、「いろは」を書く。 ●仮名の歴史が理解できたか。 ●仮名の基本的な線の引き方ができたか。 ・変体仮名と平仮名の違いと歴史について。	
	2	・高野切第三種の臨書 ・散らし書きへの展開 ・和綴じの仕方について	・ 高野切第三種について。 ● 仮名の字形が理解できたか。 ● 墨継ぎの位置に気を付けて変化つけることができたか。 ・ 散らし書きの書き方を知り、仮名の美しさを知る。 ● 散らし書きの形を知り、自分で表現できたか。 ・ 1年間の作品を糸で綴じてまとめる。	和綴じの際、針の扱いに注意する。
	3	・色紙作品	・これまで学んだ技法を取り入れながら、自分の好きな作品を書く。	

教科 情報		科目 社会と情報	2単位	対象学年・コース 1年生・全コース
【年間学習目標】 IT領域の学習を通じて、社会のリーダーと成り得る思考力・発表技術・自己概念の形成を目指す。				
【評価の観点】 授業態度と課題製作（4割程度）、各期1回の定期考査（6割程度）の結果を元に総合的な評価をおこなう。				
【使用教材】 教科書：「社会と情報」 実教出版 副教材：必要な場面で提示する				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	4月	1章 情報社会 3章 情報安全	■座学 情報倫理と安全対策 ■実習 ユーザーIDの配布 基本的なコンピュータの利用法	年間を通じて実習を中心としておこない、必要な場面で座学も随時取り入れる。
	5月	1章 情報社会 5章 問題解決	■座学 メディアとその特徴 問題を解決するには ■実習 Word タイピング 文章作成 Excel 表計算	
	6月	3章 情報安全 5章 問題解決	■座学 知的財産権 ■実習 Word 文章作成 Excel 表計算	
	7月	3章 情報安全 5章 問題解決	■座学 知的財産権 関数と表とグラフの活用 ■実習 Excel 表計算	定期考査
2 学期	9月	4章 デジタル化	■座学 デジタル情報の特徴。 情報の収集 ■実習 PowerPoint 『趣味・夢中なもの』『夏休みの思い出』	
	10月	5章 問題解決	■座学 表現の工夫。 ■実習 PowerPoint 『趣味・夢中なもの』『夏休みの思い出』	
	11月	5章 問題解決	■座学 プレゼンテーションの方法 ■実習 プレゼンテーション 発表	
	12月	4章 デジタル化	■座学 2進法、16進法 ■実習 プレゼンテーション 発表	定期考査
3 学期	1月	2章 コミュニケーション	■座学 ネットワークの仕組み ■実習 Webページの製作(プログラミング)	Webページの製作では、興味のある学問や趣味をテーマにプログラミングする。
	2月	2章 コミュニケーション	■座学 インターネットの仕組み ■実習 Webページの製作(プログラミング)	
	3月	2章 コミュニケーション	■座学 Webページとメールの仕組み ■実習 Webページの作品鑑賞	定期考査
【学習上の留意点】 授業態度、製作課題の内容を重視する。生徒諸君のまじめな学習態度が望まれる。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期 後 期	2 学 期 中 間 考 査	論理的文章（数編）	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した課題などに応じて収集した様々な情報を、分析したり整理したりして、効果的に表現するために資する資料を作成する。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・現代文単語
	2 学 期 期 末 考 査	文学的文章 論理的文章 冬季休業中の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで批評することを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・文章の構成や展開の有り様や、それらが要旨などを伝えるために果たしている効果などを分析、考察し、その価値を判じる本文の構造を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 ・漢字テスト ・現代文単語
3 学 期	3 学 期 期 末 考 査	文学的文章 論理的文章	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容だけではなく、それらの内容がどのように書かれているのかなどという点にも着目し、叙述が醸し出すものを味わう。 ・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 ・漢字テスト。 ・現代文単語
【学習上の留意点】 ・詳しくは授業担当者の指示に従うこと。				

教科 国語 科目 古典		2単位	対象学年・コース 2年 理系	
<p>【年間学習目標】 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。</p>				
<p>【評価の観点】 ・学習方法が確立し、基本的な文法事項が定着している。 ・敬語や古典常識、漢文の句形や基礎知識が定着している。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 古典B 古文編および漢文編 (第一学習社) 副教材 : クリアカラー国語便覧 (数研出版) これでわかる明快古典文法 (いいずな書店) これでわかる明快古典文法 必修ノート (いいずな出版) 古文単語330 (いいずな書店) 詳説 漢文 (いいずな書店) 詳説 漢文 必修ノート (いいずな書店)</p>				
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	1学期中間考查	(古文) 説話(一) 物語(一) (漢文) 故事・寓話 古代の史話	<p>作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・和歌の修辞 ・助詞(格助詞・接続助詞) ・古典常識(歌合・月の異名など) ・文学史(説話・歌物語)</p> <p>作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(否定・部分否定・二重否定・詠嘆・反語・比較)</p>	<p>古文単語テスト</p> <p>ノート提出</p>
	1学期期末考查	(古文) 物語(二) (漢文) 古代の史話 名家の文章	<p>作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・敬語(二方面敬語 絶対敬語) ・副助詞(だに・すら・さへ) ・文学史</p> <p>作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(受身・詠嘆・疑問・二重否定・反語)</p>	<p>古文単語テスト</p> <p>ノート提出</p>

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	2 学期 中間 考查	(古文) 物語(二) (漢文) 項羽と劉邦	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・敬語(二方面敬語・複合動詞の敬語化) ・文学史 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・抑揚・詠嘆) ・文学史	古文単語テスト ノート提出
	2 学期 期末 考查	(古文) 日記 (漢文) 項羽と劉邦 儒家の思想	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・なむの識別 ・なりの識別 ・助詞(終助詞) ・呼応の副詞 ・文学史 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・仮定・詠嘆)	古文単語テスト ノート提出
3 学期	3 学期 期末 考查	(古文) 物語(二) (漢文) 儒家の思想 道家・法家の思想	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・文学史 ・古典常識(あらすじ 人物関係) 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・仮定・否定・限定) ・対句 ・思想・文学史	古文単語テスト ノート提出
<p>【学習上の留意点】教科書の改訂に伴い変更あり。 古文単語のテストを、定期的に流し込んでいく。 授業進度によって、内容が変わることがあります。</p>				

教科 社会 科目 地理 B		3 単位	対象学年・コース 2年 先端サイエンスクラス	
<p>【年間学習目標】</p> <p>*教科書の内容を理解する。</p> <p>*ESD（持続可能な開発のための教育）に基づき、様々な地理的スキルを駆使することにより、世界の諸問題の原因・解決策を正確に見極める力を身に付け、一定の見識が持てるようにする。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、長期休業中の課題、作業プリントなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書：二宮書店 『新編詳解地理B』 地図帳：『新詳高等地図』</p> <p>副教材：二宮書店 『データブック オブ・ザ・ワールド』</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	<p>第Ⅰ編 地図と地理的スキル</p> <p>第1章 地理情報と地図</p> <p>第2章 地図と地域調査</p> <p>第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察</p> <p>第1章 自然環境</p> <p>第1節 地形</p>	<p>□様々な地図を学ぶことで、地理的に世界を俯瞰できるようなスキルを養う。</p> <p>□GIS や地図を読み取る基本的なスキルを習得する。</p> <p>□地上には営力により様々な規模の地形あることを大観する。地形図の読図スキルを習得させる。世界全体から大規模な地形をみて、そこに類似性や規則性が見えてくることを理解する。</p> <p>□大地形・小地形それぞれの特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得し、地形と生活、自然災害との関係を考察する。</p> <p>□地形図の読図スキルを習得する。</p>	
	期末考査	<p>第2節 気候</p> <p>第3節 自然と生活</p> <p>第4節 環境問題</p>	<p>□地球規模でみた気温・降水量・大気大循環、海洋や水の循環を取り上げ、それぞれの特色や形成要因を考察・理解する。長期的におこる気候変動と、異常気象について理解する。</p> <p>□世界の気候区分の方法や世界規模からみた植生・土壌の特色を理解する。世界の気候帯を取り上げ、その分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察し、基礎的・基本的知識を習得する。</p> <p>□地球上で発生している様々な災害・環境問題を取り上げ、実態と対応策について理解する。</p>	
二学期	中間考査	<p>第2章 資源と産業</p> <p>第1節 農林水産業</p>	<p>□世界の農業・水産業・林業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。</p> <p>□世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。</p>	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期 末 考 査	第2節 資源・エネルギー 第3節 工業 第4節 流通と消費	<input type="checkbox"/> 世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特徴や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。グローバル化する中での世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特徴と動向、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察する。	
三 学 期	期 末 考 査	第3章 人口と村落・都市 第1節 人口 第2節 村落・都市 第4章 生活文化、民族・宗教 第1節 衣食住 第2節 言語と宗教 第3節 民族と国家	<input type="checkbox"/> 世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察する。 <input type="checkbox"/> 様々な規模の集落があることを理解し、村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察し、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得する。世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解させ、地域性との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 世界の言語と宗教の分布を理解し、言語・宗教と社会との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 民族と国家との関連を理解し、基礎的・基本的知識を習得する。世界的にみた民族と国家との多様性や日本の領土問題について考察し、国家群や国連の役割を理解する。	
【学習上の留意点】 ＊視聴覚教材や白地図、地形図を利用し、多角的な授業を行なう。 ＊GISの技能を積極的に学ぶとともに、AIを利用した授業展開を行なう。 ＊用語や単語の暗記だけでなく、自然と人間の係わりについて理解できるようにさせる。				

教科 理数 科目 理数数学 I		3 単位	対象学年・コース 先端サイエンス・2年・中入	
<p>【年間学習目標】</p> <p>*教科書の内容を正確に理解する。</p> <p>*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。</p> <p>*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学 B, III 副教材 数研出版 クリアー 数学 II + B, III</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学 B 第 3 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列とその和	<input type="checkbox"/> 等差数列の定義を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等差中項の性質を理解し、問題を解ける <input type="checkbox"/> 等比数列の定義を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等比中項の性質を理解し、問題を解ける	研究／複利計算
	期末考査	第 2 節 いろいろな数列 6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和 第 3 節 数学的帰納法 9 漸化式 10 数学的帰納法	<input type="checkbox"/> いろいろな数列の和を求められる <input type="checkbox"/> 和の記号 Σ の意味と使い方を理解する <input type="checkbox"/> Σ の公式を導き、それを利用することができる <input type="checkbox"/> 群数列の考え方を理解し、問題を解ける <input type="checkbox"/> 階差数列を利用して数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 和の式から、一般項を求められるようにする <input type="checkbox"/> 漸化式を用いた数列の定義を理解する <input type="checkbox"/> 漸化式で表された等差、等比、階差数列を理解し、一般項が求められる <input type="checkbox"/> $a_{n+1} = pa_n + q$ の形の漸化式で表される数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 数学的帰納法という証明方法を理解する <input type="checkbox"/> 整数の性質を数学的帰納法で証明する <input type="checkbox"/> 不等式を数学的帰納法により証明ができる <input type="checkbox"/> 漸化式で定められた数列の一般項を推測し、数学的帰納法によって証明できる	研究／図形と漸化式 発展／隣接 3 項間漸化式

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間 考 査	数学 B 第 1 章 平面上のベクトル 第 1 節 ベクトルとその演算 1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 第 2 節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6 ベクトルの図形への応用 7 図形のベクトルによる表示	<input type="checkbox"/> ベクトルの定義を理解し同じベクトルを判断する <input type="checkbox"/> 逆ベクトルや零ベクトルを理解する <input type="checkbox"/> 有向線分で表されたベクトルの加法、減法、実数倍の計算を作図で理解する <input type="checkbox"/> ベクトルの平行条件・成分表示・内積を理解する <input type="checkbox"/> ベクトルの垂直条件を理解し、利用する <input type="checkbox"/> 内積の性質を理解し、計算に利用できる <input type="checkbox"/> ベクトルの大きさを内積におき換えて扱う <input type="checkbox"/> 位置ベクトルを理解し、証明に利用する <input type="checkbox"/> 図形の性質をベクトルで表現して扱う <input type="checkbox"/> ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用する <input type="checkbox"/> 線分上の点を、ベクトルで表す <input type="checkbox"/> 垂直条件をベクトルの内積で表現し考察する <input type="checkbox"/> 直線のベクトル方程式を理解する <input type="checkbox"/> ベクトルを用いて 2 直線のなす角を求める <input type="checkbox"/> 円や円の接線のベクトル方程式を理解する <input type="checkbox"/> 2 直線の位置関係、直線と平面との位置関係、特に垂直条件を理解する	研究／三角形の面積 研究／点と直線との距離
	期 末 考 査	第 2 章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形	<input type="checkbox"/> 空間座標を扱える <input type="checkbox"/> 空間におけるベクトルを理解する <input type="checkbox"/> 空間のベクトルを、与えられた 3 つのベクトルで表す <input type="checkbox"/> 平面のときと同様に成分表示 内積が定義されることを理解する <input type="checkbox"/> 位置ベクトルを理解し、利用する <input type="checkbox"/> 3 点が一直線上にある条件を理解する <input type="checkbox"/> 同じ平面上にある条件を式に直す <input type="checkbox"/> 内分点、外分点が求められる <input type="checkbox"/> 簡単な平面の方程式を理解する <input type="checkbox"/> 球面の方程式を理解する	発展／平面の方程式
三 学 期	期 末 考 査	数学 III 第 2 章 式と曲線 第 1 節 2 次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2 次曲線の平行移動 5 2 次曲線と直線 6 2 次曲線の性質 第 2 節 媒介変数表示と極座標 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式 9 コンピュータの利用	<input type="checkbox"/> 放物線・楕円・双曲線の概形を描く <input type="checkbox"/> 放物線・楕円・双曲線の方程式から、焦点（軸、準線、漸近線）などを求める <input type="checkbox"/> 曲線の平行移動について理解する <input type="checkbox"/> x, y の 2 次方程式を変形して、その方程式が表す図形を求める <input type="checkbox"/> 2 次曲線と直線の位置関係を考察する <input type="checkbox"/> 2 次曲線の接線の方程式を求める <input type="checkbox"/> 楕円や双曲線の離心率 e を理解する <input type="checkbox"/> 曲線の媒介変数表示を理解する <input type="checkbox"/> 極座標と直交座標を理解する <input type="checkbox"/> 曲線の極方程式を理解する	研究／直角双曲線 $xy=1$ 研究／2 次曲線の接線の方程式 研究／いろいろな曲線の媒介変数表示 研究／分数式による円の媒介変数表示 研究／2 次曲線を表す極方程式
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 理数 科目 理数数学 I		3 単位	対象学年・コース 先端サイエンス・2年・高入	
<p>【年間学習目標】</p> <p>*教科書の内容を正確に理解する。</p> <p>*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。</p> <p>*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査, 小テスト, 問題集ノートなどの提出物の内容, 授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学II, B, III 副教材 数研出版 クリアー 数学II+B, III</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	第3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 数学B 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列とその和	<input type="checkbox"/> 軌跡の方程式を求める <input type="checkbox"/> 不等式の表す領域が図示できる <input type="checkbox"/> 2変数関数の最大値・最小値を求める <input type="checkbox"/> 等差数列の定義を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等差中項の性質を理解し、問題を解ける <input type="checkbox"/> 等比数列の定義を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等比中項の性質を理解し、問題を解ける	研究/放物線を境界線とする領域 研究/複利計算
	期末考査	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和 第3節 数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	<input type="checkbox"/> いろいろな数列の和を求められる <input type="checkbox"/> 和の記号Σの意味と使い方を理解する <input type="checkbox"/> Σの公式を導き、それを利用することができる <input type="checkbox"/> 群数列の考え方を理解し、問題を解ける <input type="checkbox"/> 階差数列を利用して数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 和の式から、一般項を求められるようにする <input type="checkbox"/> 漸化式を用いた数列の定義を理解する <input type="checkbox"/> 漸化式で表された等差、等比、階差数列を理解し、一般項が求められる <input type="checkbox"/> $a_{n+1} = pa_n + q$ の形の漸化式で表される数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 数学的帰納法という証明方法を理解する <input type="checkbox"/> 整数の性質を数学的帰納法で証明する <input type="checkbox"/> 不等式を数学的帰納法により証明ができる <input type="checkbox"/> 漸化式で定められた数列の一般項を推測し、数学的帰納法によって証明できる	研究/図形と漸化式 発展/隣接3項間漸化式

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間 考 査	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 第2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示	<input type="checkbox"/> ベクトルの定義を理解する <input type="checkbox"/> 逆ベクトルや零ベクトルを理解する <input type="checkbox"/> 有向線分で表されたベクトルの加法、減法、実数倍の計算を作図で理解する <input type="checkbox"/> ベクトルの平行条件・成分表示・内積を理解する <input type="checkbox"/> ベクトルの垂直条件を理解し、利用する <input type="checkbox"/> 内積の性質を理解し、計算に利用できる <input type="checkbox"/> ベクトルの大きさを内積におき換えて扱う <input type="checkbox"/> 位置ベクトルを理解し、証明に利用する <input type="checkbox"/> 図形の性質をベクトルで表現して扱う <input type="checkbox"/> ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用する <input type="checkbox"/> 線分上の点を、ベクトルで表す <input type="checkbox"/> 垂直条件をベクトルの内積で表現し考察する <input type="checkbox"/> 直線のベクトル方程式を理解する <input type="checkbox"/> ベクトルを用いて2直線のなす角を求める <input type="checkbox"/> 円や円の接線のベクトル方程式を理解する <input type="checkbox"/> 2直線の位置関係、直線と平面との位置関係、特に垂直条件を理解する	研究/三角形の面積 研究/点と直線との距離
	期 末 考 査	第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形	<input type="checkbox"/> 空間座標を扱える <input type="checkbox"/> 空間におけるベクトルを理解する <input type="checkbox"/> 空間のベクトルを、与えられた3つのベクトルで表す <input type="checkbox"/> 平面のときと同様に成分表示 内積が定義されることを理解する <input type="checkbox"/> 位置ベクトルを理解し、利用する <input type="checkbox"/> 3点が一直線上にある条件を理解する <input type="checkbox"/> 同じ平面上にある条件を式に直す <input type="checkbox"/> 内分点、外分点が求められる <input type="checkbox"/> 簡単な平面の方程式を理解する <input type="checkbox"/> 球面の方程式を理解する	発展/平面の方程式
三 学 期	学 年 末 考 査	数学III 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータの利用	<input type="checkbox"/> 放物線・楕円・双曲線の概形を描く <input type="checkbox"/> 放物線・楕円・双曲線の方程式から、焦点(軸、準線、漸近線)などを求める <input type="checkbox"/> 曲線 $F(x-p, y-q)=0$ は、曲線 $F(x, y)=0$ を平行移動したものであることを理解する <input type="checkbox"/> x, y の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を求める <input type="checkbox"/> 2次曲線と直線の位置関係を考察する <input type="checkbox"/> 2次曲線の接線の方程式を求める <input type="checkbox"/> 楕円や双曲線の離心率 e を理解する <input type="checkbox"/> 曲線の媒介変数表示を理解する <input type="checkbox"/> 極座標と直交座標を理解する <input type="checkbox"/> 曲線の極方程式を理解する	研究/直角双曲線 $xy=1$ 研究/2次曲線の接線の方程式 研究/いろいろな曲線の媒介変数表示 研究/分数式による円の媒介変数表示 研究/2次曲線を表す極方程式
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 理数 科目 理数数学II		4 単位	対象学年・コース 先端サイエンス・2年	
<p>【年間学習目標】</p> <p>*教科書の内容を正確に理解する。</p> <p>*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。</p> <p>*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学II, III 副教材 数研出版 クリアー 数学II+B, III</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	数学II 第4章 三角関数 第1節 三角関数 1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質 5 三角関数の応用 第2節 加法定理 6 加法定理 7 加法定理の応用	<input type="checkbox"/> 一般角、動径、動径の表す角を理解できる <input type="checkbox"/> 弧度と角度の換算ができる <input type="checkbox"/> 単位円を利用し、三角関数の性質を理解することができる <input type="checkbox"/> $-\theta$ や $\theta \pm \pi$ についての三角関数の等式を理解し、利用することができる <input type="checkbox"/> 三角関数が周期関数であることを知り、グラフの特徴やその性質を理解することができる <input type="checkbox"/> 三角関数を含む方程式、不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 関数の最大値、最小値を考えることができる <input type="checkbox"/> 加法定理の証明と値を求める <input type="checkbox"/> 2直線のなす角を求める <input type="checkbox"/> 2倍角、3倍角、半角の公式を利用できる <input type="checkbox"/> 和と積の公式を導ける <input type="checkbox"/> 三角関数の合成ができる	研究/加法定理と点の回転 発展/和と積の公式
	期末考査	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用 第3節 積分法 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と図形の面積	<input type="checkbox"/> 極限値を理解し、極限値の計算ができる <input type="checkbox"/> 定義に従って導関数、微分係数、接線の方程式を求める <input type="checkbox"/> 増減表を作り、表から関数の増減、グラフ、極値、最大値・最小値を求める <input type="checkbox"/> 極値の条件から関数を決定できる <input type="checkbox"/> 方程式の実数解の個数を求める <input type="checkbox"/> 関数 $f(x)$ のグラフと x 軸との位置関係を利用して不等式を証明できる <input type="checkbox"/> 種々の関数の不定積分・定積分を求める <input type="checkbox"/> 面積と関数の不定積分の関係を理解する <input type="checkbox"/> 定積分を含む等式を満たす関数を求める <input type="checkbox"/> $\int_a^x f(t)dt$ が x の関数であることを理解する <input type="checkbox"/> 定積分を利用して面積を求める <input type="checkbox"/> 絶対値を含む関数の定積分を求める	研究/関数 x^n の導関数 研究/曲線と接線で囲まれた部分の面積 研究/放物線と x 軸で囲まれた部分の面積

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間 考 査	数学Ⅲ 第3章 関数 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 第4章 極限 第1節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 第2節 関数の極限 4 関数の極限(1) 5 関数の極限(2) 6 三角関数と極限 7 関数の連続性	<input type="checkbox"/> 分数関数や無理関数のグラフと直線の共有点の座標を求める <input type="checkbox"/> グラフを利用して分数関数や無理関数を含む不等式が解ける <input type="checkbox"/> 逆関数の性質を理解し、逆関数を求める <input type="checkbox"/> 種々の関数の合成関数を求める <input type="checkbox"/> 収束する数列の極限値の性質を理解し、数列の極限を求める <input type="checkbox"/> 無限数列の収束、発散を考察する <input type="checkbox"/> はさみうちの原理を理解する <input type="checkbox"/> 無限等比数列の極限を求める <input type="checkbox"/> 無限級数の収束、発散を調べる <input type="checkbox"/> 無限等比級数の収束条件を理解する <input type="checkbox"/> 関数の極限を考察する <input type="checkbox"/> はさみうちの原理から関数の極限値を求める <input type="checkbox"/> $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$ を理解し、利用する <input type="checkbox"/> 定義に基き関数の連続、不連続を判定できる <input type="checkbox"/> 中間値の定理を理解し、利用する	
	期 末 考 査	第5章 微分法 第1節 導関数 1 微分係数と導関数 2 導関数の計算 第2節 いろいろな関数の導関数 3 いろいろな関数の導関数 4 第 n 次導関数 5 曲線の方程式と導関数 第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 1 接線の方程式	<input type="checkbox"/> 定義に基づいて微分する <input type="checkbox"/> $(x^\alpha)' = \alpha x^{\alpha-1}$ の公式を理解する <input type="checkbox"/> 種々の関数の導関数、高次導関数を求める <input type="checkbox"/> 媒介変数表示された関数や陰関数の導関数を求める <input type="checkbox"/> 接線、法線の方程式を求める	研究/指数関数 $y=a^x$ のグラフと e の関係
三 学 期	学 年 末 考 査	2 平均値の定理 3 関数の値の変化 4 関数のグラフ 第2節 いろいろな応用 5 方程式・不等式への応用 6 速度と加速度 7 近似式	<input type="checkbox"/> 平均値の定理を理解し、利用する <input type="checkbox"/> 関数の最大値・最小値を求める <input type="checkbox"/> 増減、凹凸、変曲点、漸近線などを調べ、極値を求め、グラフをかく <input type="checkbox"/> 微分を利用して方程式の実数解の個数を調べたり、不等式の証明をする <input type="checkbox"/> 導関数の意味から速度ベクトル、加速度ベクトルを理解し求める <input type="checkbox"/> 微分係数の意味を考え、関数の近似式を考察する	
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考																			
【年間学習目標】 物理学的思考を身に着ける。 物理現象を理解し、数式を使って説明できる。 物理の問題の「解き方を記憶する」のではなく、「解き方を理解」し「問題を解く力」を身につける。																							
【評価の観点】 「定期考查」・「物理学実験」・「授業への取り組む姿勢」で評価する。																							
【使用教材】 教科書：物理基礎（第一学習社） 物理（第一学習社） 副教材：問題集 セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）																							
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">期</th> <th style="width:10%;">考查</th> <th style="width:25%;">単元名</th> <th style="width:45%;">学習内容・自己評価</th> <th style="width:15%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align:center; vertical-align:middle;">第1学期</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">中間 考查</td> <td>力と運動 運動量の保存 物体の運動 剛体の回転とつり合い</td> <td>『運動量と力積』の関係を覚える。 ◎「バットで打ったボール」の問題が解ける。 『運動量保存の法則』・『はね返りの係数』 が使える。 ◎「衝突・分裂・合体とエネルギーの関係」 の問題が解ける。 ※スーパーボールとはね返り ※鉄球の衝突 モーメントを理解する。 ※天秤とつり合い ◎「小円を切り抜いた円板の重心」・「壁に立 てかけられた棒」の問題が解ける。</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">天秤</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">期末 考查</td> <td>力と運動 さまざまな運動</td> <td>『等速円運動』を覚える。 ◎「ループコースター」の問題が解ける。 『単振動』を覚える。 ◎「ばね振り子」・「単振り子」の問題が解 ける。 『万有引力』と『円運動』の関係を覚える。 ◎「人工衛星」の問題が解ける。</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">ばね</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">第2学期</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">中間 考查</td> <td>エネルギー 熱とエネルギー 原子と分子 原子・分子の運動</td> <td>『温度』・『熱量』・『比熱』を使うことがで きる。 ※熱量の測定 ◎「熱量の保存」の問題が解ける。 『ボイル・シャルルの法則』を使える。 『内部エネルギーと熱の移動（熱力学の第 1法則）』を覚える。 『定圧変化・定積変化・等温変化』をグラ フで表す。 ◎「P-V グラフ」が書ける。 『気体の分子運動』から、『気体の圧力』を 求める。 『定積モル比熱』・『定圧モル比熱』を計算 で求める。 ◎「気体の分子運動と圧力」・「P-V グラフ」 の問題が解ける。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考	第1学期	中間 考查	力と運動 運動量の保存 物体の運動 剛体の回転とつり合い	『運動量と力積』の関係を覚える。 ◎「バットで打ったボール」の問題が解ける。 『運動量保存の法則』・『はね返りの係数』 が使える。 ◎「衝突・分裂・合体とエネルギーの関係」 の問題が解ける。 ※スーパーボールとはね返り ※鉄球の衝突 モーメントを理解する。 ※天秤とつり合い ◎「小円を切り抜いた円板の重心」・「壁に立 てかけられた棒」の問題が解ける。	天秤	期末 考查	力と運動 さまざまな運動	『等速円運動』を覚える。 ◎「ループコースター」の問題が解ける。 『単振動』を覚える。 ◎「ばね振り子」・「単振り子」の問題が解 ける。 『万有引力』と『円運動』の関係を覚える。 ◎「人工衛星」の問題が解ける。	ばね	第2学期	中間 考查	エネルギー 熱とエネルギー 原子と分子 原子・分子の運動	『温度』・『熱量』・『比熱』を使うことがで きる。 ※熱量の測定 ◎「熱量の保存」の問題が解ける。 『ボイル・シャルルの法則』を使える。 『内部エネルギーと熱の移動（熱力学の第 1法則）』を覚える。 『定圧変化・定積変化・等温変化』をグラ フで表す。 ◎「P-V グラフ」が書ける。 『気体の分子運動』から、『気体の圧力』を 求める。 『定積モル比熱』・『定圧モル比熱』を計算 で求める。 ◎「気体の分子運動と圧力」・「P-V グラフ」 の問題が解ける。	
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考																			
第1学期	中間 考查	力と運動 運動量の保存 物体の運動 剛体の回転とつり合い	『運動量と力積』の関係を覚える。 ◎「バットで打ったボール」の問題が解ける。 『運動量保存の法則』・『はね返りの係数』 が使える。 ◎「衝突・分裂・合体とエネルギーの関係」 の問題が解ける。 ※スーパーボールとはね返り ※鉄球の衝突 モーメントを理解する。 ※天秤とつり合い ◎「小円を切り抜いた円板の重心」・「壁に立 てかけられた棒」の問題が解ける。	天秤																			
	期末 考查	力と運動 さまざまな運動	『等速円運動』を覚える。 ◎「ループコースター」の問題が解ける。 『単振動』を覚える。 ◎「ばね振り子」・「単振り子」の問題が解 ける。 『万有引力』と『円運動』の関係を覚える。 ◎「人工衛星」の問題が解ける。	ばね																			
第2学期	中間 考查	エネルギー 熱とエネルギー 原子と分子 原子・分子の運動	『温度』・『熱量』・『比熱』を使うことがで きる。 ※熱量の測定 ◎「熱量の保存」の問題が解ける。 『ボイル・シャルルの法則』を使える。 『内部エネルギーと熱の移動（熱力学の第 1法則）』を覚える。 『定圧変化・定積変化・等温変化』をグラ フで表す。 ◎「P-V グラフ」が書ける。 『気体の分子運動』から、『気体の圧力』を 求める。 『定積モル比熱』・『定圧モル比熱』を計算 で求める。 ◎「気体の分子運動と圧力」・「P-V グラフ」 の問題が解ける。																				

		単元名	学習内容・自己評価	備考
第2学期	期末考査	波 波の性質 音 光 レンズ	『波の性質一般』を作図法（反射・屈折・回折・干渉）で覚え。 『音の性質一般』を覚える。 ◎「発音体（気柱・弦）の振動」・「ドップラー効果」の問題が解ける。 ※弦の振動の観察 『光の性質一般』を覚える。 ◎「ヤングの実験」・「薄膜の干渉」・「矩形の干渉」・「ニュートンリング」の問題が解ける。 ※干渉現象の観察 凸・凹レンズ	オシロスコープ 気柱共鳴 おんさ レーザー光線源 スリット 干渉版 ニュートンリング 偏光板 光学実験台
第3学期	期末考査	電気と磁気 電荷と磁場	『電場と電荷に働く力』の関係を覚える。 ◎「クーロンの法則」の問題が解ける。 『電位と仕事』の関係を覚える。 『コンデンサーと電気量』の関係を覚える。 ◎「電気量保存の法則」の問題が解ける。 『オームの法則とキルヒホッフの法則』を覚える。 ◎「回路図」の問題が解ける。	バンデグラフ型起電機 コンデンサーと充電・放電
【学習上の留意点】				

教科 理数 科目 理数生物	4 単位	対象学年・コース 2年先端サイエンスクラス
---------------	------	-----------------------

【年間学習目標】

広く理工系を目指す人材として、科学・技術・社会の関連を意識し、生物・生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験・討論等を行い、探究する能力と態度を訓練するとともに、知識・理解の上に科学的な見方や考え方を養う。

- (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【評価の観点】

- ・生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を説明できる。
- ・観察・実験・討論などに参加し、科学的な思考から意見や判断を言語化できる。
- ・個人と集団の間で主体的かつ協調的に行動できる。

以上の観点から、定期考査の素点、休業中の課題の完成度、観察・実験・討論などの報告書や各種提出課題（期限厳守）を含む授業と日常学習への取り組みの状況から、達成された学習状況を総合的に評価するものとする。

【使用教材】

- ・教科書：本川・谷本ら『生物 改訂版』『生物基礎 改訂版』啓林館。
- ・資料集：『スクエア最新図説生物 neo』第一学習社。 用語集：吉田ら『生物用語集 改訂版』駿台文庫。
- ・演習問題：第一学習社編集部編『セミナー生物』『セミナー生物基礎』第一学習社。
スタディサプリ「高1・高2 生物」「高1・高2・高3 生物基礎」リクルート。
各種模擬試験の問題と解説。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	第1部 生命現象と物質 第1章 生命と物質 1. 物質と細胞 2. 生命現象とタンパク質 第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸 3. 光合成 4. 窒素代謝	<input type="checkbox"/> 細胞の内部構造と構成する物質の特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> さまざまなタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[1]細胞と分子の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 有機物の分解・合成に伴ってエネルギーが出入りするとともに ATP が果たす役割を理解する。 <input type="checkbox"/> 呼吸によってエネルギーが作られる仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 光合成によって光エネルギーを用いて有機物が作られる仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 窒素固定と窒素同化について理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[2]同化 [3]異化の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 原形質分離の観察、細胞質流動の観察、脱水素酵素の反応、アルコール発酵、緑葉色素の抽出と分離、根粒と根粒菌の観察
	期末考査	第3章 遺伝情報と物質 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の発現調節 3. バイオテクノロジー	<input type="checkbox"/> DNA の複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み、および遺伝子情報の変化を理解する。逆転写反応を含む。 <input type="checkbox"/> 遺伝子の発現が調節されていること、およびその仕組みの概要を理解する。エピジェネティクスを含む。	以下の実験例も参照すること。 核内の DNA と RNA の染色による検出、

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
	期末考查(続き)	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分配 1. 有性生殖	<input type="checkbox"/> 遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解させる。 <input type="checkbox"/> 減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝子的な組み合わせが生じることを理解させる。 <input type="checkbox"/> 無性生殖と比較して減数分裂と受精の意義がわかる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[4]遺伝情報の発現 [5]有性生殖の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 夏季休業中に「生物基礎」全範囲並びに「生物」の既習範囲を復習する。	遺伝子の発現調節、DNAの切断と電気泳動、減数分裂と花粉の形成
二学期	中間考查	2. 遺伝子の多様な組み合わせ 第2章 動物の生殖と発生 1. 動物の配偶子形成と受精	<input type="checkbox"/> 遺伝子の連鎖と組換えについて理解する。 <input type="checkbox"/> 遺伝の法則、連鎖と組換えにより遺伝子の組合せが変わることを考えることができる。伴性遺伝を含む。 <input type="checkbox"/> 配偶子形成と受精の過程について理解する。 <input type="checkbox"/> 配偶子形成は、減数分裂を含む一連の過程によって卵や精子などができることを扱う。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[5]有性生殖 [6]発生の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 組換えによる遺伝的多様性、ウニの受精の観察
	期末考查	2. 初期発生の過程 第3章 植物の生殖と発生 1. 被子植物の授精 2. 胚と種子の形成 3. 植物の器官形成	<input type="checkbox"/> 卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解する。 <input type="checkbox"/> 被子植物を中心とし、精細胞と卵細胞の形成過程、重複受精による胚と胚乳の形成などを扱う。 <input type="checkbox"/> 花の形態形成における遺伝子の働きについてはABCモデルなどを取り上げる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[6]発生の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 冬季休業中に「生物基礎」全範囲並びに「生物」の既習範囲を復習する。	以下の実験例も参照すること。 ウニの初期発生の観察、ニワトリの初期発生とアポトーシス、花粉の発芽と花粉管の観察、芽と茎頂分裂組織の観察
三学期	学年末考查	第3部 生物の環境応答 第1章 刺激の受容と反応 1. 刺激の受容 2. 神経 3. 神経系 4. 効果器 第2章 動物の行動 1. 生得的行動 2. 学習行動	<input type="checkbox"/> 眼や耳の感覚細胞が刺激を受容する仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 受容器と効果器は中枢神経と末梢神経からなる神経系によって連絡されていること、神経に興奮が発生して伝えられる仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 筋肉の筋原繊維が収縮する仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 刺激に対する反応としての動物個体の行動を神経系における情報の流れを理解する。様々な動物の行動を理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[8]動物の反応と行動の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 盲斑の位置と形、アリの道しるべフェロモン、オーキシン濃度と植物の成長

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
三学期	学年末考查(続き)	第3章 植物の環境応答 1. 植物の一生と植物ホルモン 2. 発芽と成長の環境応答 3. 花芽形成の環境応答 4. 花や果実の成長と老化 5. 光受容体と植物ホルモンのはたらきのまとめ	<input type="checkbox"/> 植物の一生について環境に応答してはたらく植物ホルモンのちがいを理解する。代表的な植物ホルモンとして、オーキシシンやジベレリンなどを学ぶ。 <input type="checkbox"/> 環境の変化と開花のしくみについて理解する。 <input type="checkbox"/> 植物の光環境に関する植物ホルモンについて理解する。光受容体として、フィトクロムなどの働きを知る。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[7]植物の環境応答の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 春季休業中に「生物基礎」全範囲並びに「生物」の既習範囲を復習する。	

【学習上の留意点】

授業を中心とした学習方法（予習・復習の仕方やデジタル学習材の活用法など）については授業担当教員に確認してください。生物と生物現象の理解・探究には概念や知識のインプットとそれらを活用するアウトプットの両方が必要です。『セミナー生物基礎』『セミナー生物』を使いインプットの不足を埋め、誤りを修正し、実践的なアウトプットにつなげましょうあわせて、希望する進路で要求される学力を身に着けるため、適する問題集や参考書を段階的に追加しましょう。環境・医療・農業などの最新の話題に触れ、社会や日常生活とのつながりも理解できることが好ましいです。

教科 理数 科目 理数化学	4単位	先端サイエンスクラス
---------------	-----	------------

【年間学習目標】

化学的な事物・現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探究心を高め, 化学的に探究する能力と態度を育てるとともに, 化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め, 科学的な自然観を育成する。

【評価の観点】

- ・自然の事物・現象に関心をもち, 意欲的にそれらを探究しようとするとともに, 科学的態度を身に付けている。
 - ・自然の事物・現象について, 基本的な概念や原理・法則を理解し, 知識を身に付けている。
- 以上の観点から, 定期考査, 長期休業課題, 実験報告書等の成績ならびに授業の取組み状況から評価する。

【使用教材】

教科書; 第一学習社 高等学校 化学基礎、 第一学習社 高等学校 化学
 副教材; 浜島書店 ニューステージ 化学図表、スタディサプリ 高1・高2 化学<理論編>前編・後編、
 スタディサプリ 高1・高2 化学<無機編>、スタディサプリ 高3 スタンダードレベル化学<有機編>
 問題集; 第一学習社 セミナー 化学基礎+化学

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間 考査	第I章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 1. 化学結合と結晶の性質 2. 金属結晶の構造 3. イオン結晶の構造 4. 共有結晶の構造 5. 分子間力と分子結晶 6. 非結晶 第2節 物質の三態変化 1. 物質の三態とその変化 2. 気液平衡と蒸気圧 第3節 気体の性質 1. 気体の体積変化 2. 気体の状態方程式 3. 理想気体と実在の気体 第4節 溶液の性質 1. 溶解と溶液	<input type="checkbox"/> 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 状態変化に伴うエネルギーの出入りを理解する。 <input type="checkbox"/> 状態間の平衡と温度や圧力との関係について、状態図を用いて学ぶ。 <input type="checkbox"/> 気体の体積と圧力や温度との関係(ボイルの法則、シャルルの法則)を理解する。 <input type="checkbox"/> 気体の状態方程式を理解し、その応用を学習する。また、実在の気体と理想気体の違いを理解する。 <input type="checkbox"/> 混合気体について、分圧の法則を理解する。 <input type="checkbox"/> 溶解の仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 気体の溶解度を理解する。	※ 第1節の内容は、はすでに学習しているので、ここでは復習(演習)を中心に学習する。
	期末 考査	2. 希薄溶液の性質 3. コロイド溶液 第II章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー 1. 反応熱と熱化学方程式 2. ヘスの法則と結合エネルギー 第2節 電池・電気分解 1. 電池 2. 電気分解	<input type="checkbox"/> 蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下及び浸透圧の定量的な取扱いを学習する。 <input type="checkbox"/> コロイドを理解し、その溶液の性質を学習する。 <input type="checkbox"/> 化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。 <input type="checkbox"/> 熱化学方程式のつくり方を習得する。 <input type="checkbox"/> ヘスの法則を理解する。	※第2節はすでに学習しているので、問題演習を中心とした学習を行う。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考查	第3節 化学反応の速さ 1. 化学反応の速さと濃度・圧力 2. 化学反応の速さと温度 3. 触媒 第4節 化学平衡 1. 可逆反応と平衡 2. 平衡状態の変化と平衡移動 3. 平衡定数 4. 電離平衡	<input type="checkbox"/> 反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 <input type="checkbox"/> 触媒の働きとその利用を学習する。 <input type="checkbox"/> 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。 <input type="checkbox"/> ルシャトリエの原理を理解する。 <input type="checkbox"/> 平衡定数を理解し、それを応用した量的な関係の計算手法について学ぶ。 <input type="checkbox"/> 水のイオン積、pH及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。 <input type="checkbox"/> 塩の加水分解や緩衝液における電離平衡について理解する。	
	期末 考查	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体とその化合物 1. 元素の分類と性質 2. 水素とその化合物 3. 希ガス 4. ハロゲンとその化合物 5. 酸素・硫黄とその化合物 6. 窒素・リンとその化合物 7. 炭素・ケイ素とその化合物 第2節 典型金属元素の単体とその化合物 1. アルカリ金属とその化合物 2. 2族元素とその化合物 3. 亜鉛・水銀とその化合物 4. アルミニウムとその化合物 5. スズ・鉛とその化合物 第3節 遷移元素の単体とその化合物 1. 鉄とその化合物 2. 銅とその化合物 3. 銀とその化合物 4. クロム・マンガンとその化合物 5. 金属イオンの定性分析 第4節 無機物質と人間生活 1. 金属の利用 2. セラミックスの利用	<input type="checkbox"/> 典型元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 無機物質を、日常生活および化学工業に関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 典型金属元素とその化合物について、性質や用途を学習する。 <input type="checkbox"/> 遷移元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 <input type="checkbox"/> 金属イオンの定性分析について学習する。 <input type="checkbox"/> 人間生活に利用されている代表的な金属、セラミックスなどについて、その製法と利用について学習する。	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
3 学 期	学 年 末 考 査	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 1. 特徴と分類 2. 化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸とエステル 4. 油脂とセッケン 第4節 芳香族化合物 1. 芳香族炭化水素 2. 酸素を含む芳香族化合物 3. 窒素を含む芳香族化合物 4. 芳香族化合物の分離	<input type="checkbox"/> 有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して学習し、有機化合物の分類と特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> 有機化合物の化学式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。 <input type="checkbox"/> 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどの性質を炭素骨格と官能基の特徴を関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 有機化合物相互の関連について学習する。 <input type="checkbox"/> 各種異性体の特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> 有機化合物が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 芳香族化合物について、アルコール誘導体、ニトロ化合物、アミン類を通して、官能基と有機化合物の性質を理解する。 <input type="checkbox"/> 分液ろうとを用いた芳香族化合物の分離法を学ぶ。	
【学習上の留意点】 ・学習進度は状況に応じて、変更がある場合がある。また、プリント等を用いた演習を必要に応じて行う。 ・実験・観察は理科の学習の基本であり、重視している。				

教科 英語	科目 コミュニケーション英語Ⅱ	4単位	対象学年・コース 2年 Sコース
-------	-----------------	-----	------------------

【年間学習目標】

- ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

【評価の観点】

定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。

【使用教材】

- 教科書 『ELEMENT English Communication Ⅱ』（啓林館）
- 副教材 『ELEMENT English Communication Ⅱ 予習ノート』（啓林館）
- 『英文法・語法 Vintage New Edition』（いいずな書店）
- 『Listening Essential 2』（啓隆館）
- 『Viewpoint standard』（数研出版）

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間 考査	Lesson 1 Beyond Words	非音声的言語(ノンバーバル・コミュニケーション) ・助動詞+完了形 ・受動態の動名詞 ・付帯状況を表す with A B	比較文化・言語
		Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish	スティーブ・ジョブズの名スピーチ ・複合関係詞 ・S+V(be 動詞)+C(that 節) ・be 動詞+to 不定詞	生き方・スピーチ
		【自主学習】	『英文法・語法 Vintage』	課題テストあり
	期末 考査	Lesson 3 A Teenager To Change the World	世界を変える高校生の大発見 ・疑問詞+do you think+(S')+V? ・動名詞の意味上の主語 ・未来進行形	医学・生き方
		Lesson 4 Life in a Jar	2,500人のユダヤ人を救った命のリスト ・完了形の受動態 ・さまざまな分詞構文	平和・人権
		【自主学習】	『英文法・語法 Vintage』	課題テストあり

夏 季 休 業	課題	【自主学習】	『システム英単語』 『英文法・語法 Vintage』 『Viewpoint standard』 ※スタディサプリ・スタディサプリイングリッシュ	課題テストあり
------------------	----	--------	--	---------

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	Lesson 5 Space Debris	宇宙のごみ問題を解決しよう ・接続詞＋分詞 ・二重否定 ・部分否定	宇宙・環境
		Lesson 6 Caddy for Life	ゴルフが結んだ友情—命をかけたキャディー ・関係副詞の非限定用法 ・独立分詞構文	友情・人間愛
		【自主学習】	『英文法・語法 Vintage』	課題テストあり
	期 末 考 査	Lesson 7 iPS Cells	世紀の大発見—iPS 細胞とは ・不定詞の意味上の主語 ・if を省略した仮定法 ・同格の that	医学・科学
		Lesson 8 Selective Breeding	犬の品種改良の長所と短所 ・仮定法の慣用表現 ・完了形の動名詞 ・強調構文	動物・科学
		【自主学習】	『英文法・語法 Vintage』	課題テストあり
冬 季 休 業	課題	【自主学習】	『システム英単語』 『英文法・語法 Vintage』 『Viewpoint standard』 ※スタディサプリ・スタディサプリイングリッシュ	考查後ノート提出あり
3 学 期	期 末 考 査	Lesson 9 The Vancouver Asahi	伝説の野球チーム—バンクーバーの朝日 ・what を用いた強調 ・無生物主語 ・倒置	スポーツ・人権
		Lesson 10 Euglena	ミドリムシが世界を救う?!—0.05mm の挑戦 ・未来完了形 ・if 節に相当する表現 ・複合関係詞 however	環境・科学
		【自主学習】	『英文法・語法 Vintage』 『Viewpoint standard』	課題テストあり

【学習上の留意点】

- ※ 毎回予習（予習ノート）をして授業に臨むこと。ノートチェックも行います。
- ※ 予習⇒授業⇒復習（学校）+自主学習（問題集などの家庭学習）を積極的に行い、学力を伸ばしましょう。
- ※ スピーキング特別授業も各学期、数回実施する。

教科 英語	科目 英語表現Ⅱ	2単位	対象学年・コース 2年 Sコース	
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 既習文法事項を単元ごとに確認し、表現（Speaking / Writing）の土台としての確立を目指す。 				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 『Vision Quest English Expression II Ace』（啓林館）</p> <p>参考書 『Vision Quest 総合英語』（啓林館）</p> <p>問題集 『Vision Quest English Expression II Ace New WORKBOOK』（啓林館）</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中 間 考 査	Part 1 Lesson 1 お花見	主語の決定／見えない主語の発見／主語の it ワークブック演習あり	英和・和英辞典を毎回 携帯すること
		Lesson 2 漫画の楽しみ	主語になる名詞句／形式主語／無生物主語 ワークブック演習あり	
		Lesson 3 京都へ観光に	自動詞と他動詞／間違えやすい自動詞と他動詞／ 群動詞 ワークブック演習あり	
		Lesson 4 私の家族です	SVO/SVOO ワークブック演習あり	
	期 末 考 査	Lesson 5 保育園での授業体験	SVC/SVOC ワークブック演習あり	
		Lesson 6 サプライズパーティー	使役動詞／知覚動詞 ワークブック演習あり	
		Lesson 7 映画のお誘い	直接話法と間接話法／間接話法で伝達 ワークブック演習あり	話法は初めての単元 になるので予習して授業 に臨むこと
		Lesson 8 航空管制官になる	「～する」／「～している」 ワークブック演習あり	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間 考查	Lesson 9 趣味はピアノ	「～した」／「～していた」 ワークブック演習あり	
		Lesson 10 『タイタニック』を見て	能動態と受動態／日本語との違い ワークブック演習あり	
		Lesson 11 世界遺産の魅力	「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」 ワークブック演習あり	if を用いない仮定法等、 1年で学習しない箇所 は予習して臨むこと
		Lesson 12 ボランティア活動	義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞 ワークブック演習あり	助動詞を用いた慣用表 現等『Vision Quest 総 合英語』参照のこと
	期末 考查	Lesson 13 制服に賛成？ 反対？	数量を表す語句／名詞を前から修飾する語句 ワークブック演習あり	
		Lesson 14 ローマの魅力	名詞を後ろから修飾する①／② ワークブック演習あり	
		Lesson 15 思い出の写真	関係代名詞／関係副詞 ワークブック演習あり	擬似関係詞など、1年 で学習しない箇所は予 習して臨むこと
		Lesson 16 科学技術の利用	副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句 ワークブック演習あり	
3 学期	期末 考查	Lesson 17 携帯電話は便利だけど...	副詞節①／② ワークブック演習あり	
		Lesson 18 犬派？ 猫派？	原級／比較級 ワークブック演習あり	比較を用いた慣用表現 等『Vision Quest 総合 英語』参照のこと
		Lesson 19 思い出深いプレゼント	最上級／最上級を意味する表現 ワークブック演習あり	〃
		Lesson 20 インターネットの問題点	no＋名詞，noで始まる代名詞／部分否定／準否定 ワークブック演習あり	否定表現は英表Ⅰでは なく、英表Ⅱで詳しく 扱う

【学習上の留意点】

※ 授業の進捗状況により、随時 Part2, Part3 も行っていく。

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので，「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフENS・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ，野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。

教科 高校 家庭 科目 家庭基礎		2単位	対象学年・コース 2年 全コース	
【年間学習目標】 <ul style="list-style-type: none"> 衣食住、福祉、消費生活などの基本的な知識と技術を身につける。 生活の中の課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 実践的な学習を通して、生活に必要な知識と技術を身につける。 				
【評価の観点】 <ul style="list-style-type: none"> 定期考査、実技テスト、課題の内容と提出状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に評価する。 				
【使用教材】 教科書： 家庭基礎 共に生きる明日をつくる（教育図書） 副教材： トータルデータ 家庭科ガイドブック（教育図書）、マナーブック（教育図書）				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	4 月	I 家族・地域・社会との共生 第2章 子どもの発達と保育 ① 子ども発達を学ぶ	<input type="checkbox"/> 子どもの心身の発達の特徴や乳幼児期が人の一生において、重要な時期であることを理解する。	被服実習① 「トートバッグ」 しみ抜き実験
	5 月	② 子どもの生活を知る	<input type="checkbox"/> 子どもの発達における遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。	
		③ 子どもと育ち合う	<input type="checkbox"/> 親の役割や子どもを生き育てることの意義について考えることができる。	
		④ 社会が子どもを育てる	<input type="checkbox"/> 現代の子どもを取り巻く環境の問題にや子どもの権利や福祉について理解する。	
	6 月	第3章 高齢期の生活	<input type="checkbox"/> 高齢期の心身の特徴、生活について知り、	
7 月	① 超高齢社会を生きる高齢期の心身の特徴と暮らし ② 高齢者の暮らしを支える仕組み	社会的な支援のあり方について理解する。 <input type="checkbox"/> 高齢者を支える基本的な制度や仕組み、高齢者を支える地域の役割について考えることができる。	1 学期末考査	
8 月				

期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	9 月	Ⅱ生活の自立 第1章 食生活と自立 ① 人が食べるということ	<input type="checkbox"/> 食事を健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の食文化を知り、食生活を創造する主体であることを確認する。 <input type="checkbox"/> 栄養素の種類や機能について理解する。 <input type="checkbox"/> おもな食品の特徴について理解し、持続可能な食生活、安全で健康な食生活について考え、工夫する。 <input type="checkbox"/> 茶道体験を通して、日本の文化やもてなしの心など、マナーを学ぶ	被服実習② 「ハーフパンツ」
	10 月	② 栄養と食品		調理実習 「軽食」
	11 月	●日本の伝統文化		
	12 月	Ⅱ生活の自立 第4章 消費生活と経済 ① 経済的な自立を目指して ④ 消費者問題の発生と消費者の権利		<input type="checkbox"/> 自分も含めた家族の生活費と家計との関係を認識する。 <input type="checkbox"/> 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。 <input type="checkbox"/> 自分の消費行動の社会への影響力を認識し、適切な意思決定ができる。 <input type="checkbox"/> 消費者問題や消費者の権利や消費者支援
3 学期	1 月	Ⅰ家族・地域・社会との共生 第4章 共生社会と福祉	<input type="checkbox"/> 共生社会の重要性について理解する。 <input type="checkbox"/> 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。 <input type="checkbox"/> 身近な生活の中からユニバーサルデザインの製品を製作する	
	2 月	① 共生社会の実現のために		
	3 月			被服実習③ 「エプロン」
【学習上の留意点】 学習状況に応じて、予定進度、調理実習・茶道の時期などを変更することがあります。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
【年間学習目標】 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。				
【評価の観点】 ・文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価することができる。 ・文章を読んで、書き手の意図や、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。 ・文章を読んで批評することを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。 ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析・整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。				
【使用教材】 教科書 : 高等学校 現代文B (第一学習社) 副教材 : 演習問題集				
1 学期	中間 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・問題演習に取り組み、実力をつける。	
	期末 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・過去の入試問題を使って問題の解法を学び、実力をつける。	
2 学期	中間 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	・書き手のものの見方・感じ方・考え方について思考・想像・批評する。 ・問題演習に取り組み、実力をつける。	
	期末 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	・文章を読むことを通じ、読み手としてのものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・問題演習に取り組み、実力をつける。	文学史
【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。				

教科 国語 科目 古典		2単位	対象 3年 理系	
【年間学習目標】 ・古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。 ・大学受験に必要な知識、読解力、表現力を養う。				
【評価の観点】 ・古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方が豊かになったている。 ・古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識が身についている。 ・大学受験に必要な知識、理解力、表現力が身についている。				
【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 古典B 古文編および漢文編 (第一学習社) 副教材 : これでわかる明快古典文法 (いいずな書店) 精説漢文 (いいずな書店) みるみる覚える古文単語300 (いいずな書店) 入試演習問題集・・・未定。習熟度に合わせて検討				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中 間 考 査	(古文) 随筆(二) 入試問題演習 (漢文) 志怪と伝奇 宋・元代の文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 中国の主要な思想の概要を理解する。 古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 重要句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 	
1 学 期	期 末 考 査	(古文) 説話 評論 入試問題演習 (漢文) 逸話 漢詩の鑑賞 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 重要句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 	

2 学 期	中間 考 査	(古文) 物語(一) 日記 入試問題演習 (漢文) 清代の文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・問題の解き方を学び、実力を養う。 	
	期 末 考 査	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の解き方を学び、実力を養う。 	
【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。				

教科 社会 科目 地理 B		3 単位	対象学年・コース 3年 先端サイエンスクラス	
【年間学習目標】 *センター試験に向けて、基礎的な知識の定着を目指す *問題演習にて実践的な能力を養う。				
【評価の観点】 定期考査、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 : 帝国書院 『新詳地理B (初訂版)』 『新詳高等地図』 副教材 : 二宮書店 『データブックオブザワールド』				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	第Ⅲ編 現代世界の地誌的 考察 東アジア 東南アジア 西アジア アフリカ	<input type="checkbox"/> アジアの自然環境や資源・産業を復習し、地域の特性を理解する。 <input type="checkbox"/> アジア諸国の社会環境などから日本との共通性や異質性、日本との交流に着目して考察する。 <input type="checkbox"/> アフリカ大陸の自然環境と産業分野を総合的に理解する。	
	期末考査	第Ⅲ編 現代世界の地誌的 考察 ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア	<input type="checkbox"/> ヨーロッパ・ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニア各地域を取り上げ、自然環境や資源・産業を復習し、特性と共通性を理解する。	
二 学 期	中間考査	現代世界と日本	<input type="checkbox"/> 今までの学習を基にして、日本の自然、産業構造、人口構成と居住問題、伝統文化保全とグローバル化に関して、日本がかかえる地理的な課題を多面的・多角的に考察、探究する。	
	期末考査	大学入試問題演習 (センター)	<input type="checkbox"/> 教科書を基本に人文分野を復習する。 <input type="checkbox"/> センター試験および大学入学共通テストの過去問題を解き、実践力をつける。	
【学習上の留意点】 *視聴覚教材や白地図、地形図を利用し、多角的な授業を行なう。 *用語や単語の暗記だけでなく、自然と人間の係わりについて理解できるようにさせる。				

教科 公民 科目 現代社会演習		3 単位	対象学年・コース 3年 先端サイエンス 選択者	
【年間学習目標】 高校1年次の内容を更に充実させ、政治や経済に関するテーマを中心にレベルアップを図る。問題演習を通じて、センター試験での高得点を目指す。				
【評価の観点】 定期考査、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書：高等学校 改訂版 現代社会（第一学習社） 副教材：チェック&演習 倫政（数研出版）、倫理、政治・経済の点数が面白いほど取れる本（KADOKAWA）				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間 考査	1. 民主政治の原理と人権思想	<input type="checkbox"/> 社会契約説を比較し、権力のあり方を理解できる <input type="checkbox"/> 法の支配と法治主義の違いを理解できる	
		2. 民主政治のしくみ	<input type="checkbox"/> 人権保障の歩みを把握できる <input type="checkbox"/> イギリスとアメリカの政治体制を理解できる	
		3. 日本国憲法とその原理	<input type="checkbox"/> ロックとモンテスキューの権力分立論を理解できる <input type="checkbox"/> 明治憲法と昭和憲法の違いを理解できる	
		4. 基本的人権の本質と法の下での平等	<input type="checkbox"/> 日本国憲法で保障されている人権を整理できる	
		5. 自由権	<input type="checkbox"/> 権利を争った訴訟から自由権を把握できる	
		6. 社会権と新しい人権	<input type="checkbox"/> 公共の福祉の考え方を理解できる <input type="checkbox"/> 社会権の特徴を理解できる <input type="checkbox"/> 新しい人権の種類とその特徴を理解できる	
		7. 日本の平和主義	<input type="checkbox"/> 憲9条をめぐる訴訟、統治行為論の意味を理解できる	
		8. 日本の防衛政策と諸問題	<input type="checkbox"/> 日本の防衛原則を把握し、その問題点を理解できる	
		9. 国会の地位と権限	<input type="checkbox"/> 憲法を通じて国会の働きを理解できる。 <input type="checkbox"/> 衆議院の優越の流れを理解できる	
		10. 内閣の地位と権限	<input type="checkbox"/> 憲法を通じて内閣の組織と働きを理解できる <input type="checkbox"/> 今日の行政に関する問題点を指摘できる	
		11. 裁判所の地位と権限	<input type="checkbox"/> 司法権の独立と裁判官の身分保障の重要性を理解できる <input type="checkbox"/> わが国の裁判制度を理解できる <input type="checkbox"/> わが国の違憲審査制度を理解できる	
		12. 地方自治のしくみ	<input type="checkbox"/> 団体自治と住民自治の違いを理解できる <input type="checkbox"/> 特別法住民投票と住民投票条例の住民投票の違いを理解できる <input type="checkbox"/> 地方財源の状況と3割自治の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 地方がかかえる問題を指摘できる	
		13. 選挙制度と世論	<input type="checkbox"/> 様々な選挙区制の長所短所が理解できる <input type="checkbox"/> 日本の選挙制度が把握できる <input type="checkbox"/> 日本の選挙の問題点が理解できる	
		14. 政党政治と圧力団体	<input type="checkbox"/> 二大政党制と小党分立制の長所短所が理解できる <input type="checkbox"/> 戦後日本の政党のながれを把握できる <input type="checkbox"/> 圧力団体と政党の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 政治資金規正法と政党助成法の内容を理解できる	
期 末 考査		15. 戦後国際政治の動向	<input type="checkbox"/> 東西冷戦の対立構図と終結までの流れを理解できる <input type="checkbox"/> 国際法の特徴と、国際司法機関の種類と短所を理解できる	
		16. 国際政治と国際法	<input type="checkbox"/> 国際連盟の欠点が理解できる	
		17. 国際連合の役割	<input type="checkbox"/> 国際連合の組織を把握、安全保障理事会の役割を理解できる	
		18. 核・軍縮問題	<input type="checkbox"/> PKO と国連憲章の関係、国際連合の問題点を理解できる	
		19. 現代の世界と紛争	<input type="checkbox"/> 核軍縮条約の内容と問題点を理解できる <input type="checkbox"/> 地域、民族紛争を把握できる	
		20. 資本主義経済の成立と発展	<input type="checkbox"/> 社会システムの違いを理解できる <input type="checkbox"/> 時代で変化する資本主義のあり方を理解できる	
		21. 現代の企業	<input type="checkbox"/> 株式会社の特徴を理解できる <input type="checkbox"/> コーポレート・ガバナンスの必要性を理解できる <input type="checkbox"/> 多国籍企業など、現代の企業のあり方を理解できる	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間 考查	22. 現代の市場	<input type="checkbox"/> 需給曲線の仕組みを理解できる	
			<input type="checkbox"/> 寡占市場での価格決定の仕方を理解できる	
		<input type="checkbox"/> 市場の失敗の具体例と解決策を理解できる		
23. 国民所得と景気変動		<input type="checkbox"/> ストックとフローの概念を理解できる		
		<input type="checkbox"/> フローの諸指標を確認し、各々の求め方を理解できる		
		<input type="checkbox"/> 国民所得の三面等価を理解できる		
		<input type="checkbox"/> GDP と GNI の違いを理解できる		
		<input type="checkbox"/> 経済成長率を求められる		
		<input type="checkbox"/> 景気変動の波（4つ）の周期と要因を理解できる		
24. 金融のしくみとはたらき		<input type="checkbox"/> 直接金融と間接金融の違いを理解できる		
		<input type="checkbox"/> 銀行の役割と信用創造で生み出される通貨を求められる		
		<input type="checkbox"/> 日銀の金融政策を理解できる		
		<input type="checkbox"/> 金融の自由化の内容を把握できる		
25. 財政のしくみとはたらき		<input type="checkbox"/> 財政の役割を理解し、財政政策の仕組みを理解できる		
	<input type="checkbox"/> 租税の種類と問題点を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 国債発行のルールと国債残高による影響を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 財政投融资の仕組みと改革内容を理解できる			
26. 戦後の日本経済	<input type="checkbox"/> 傾斜生産方式、ドッジ・ラインなどの流れをつかめる			
	<input type="checkbox"/> 高度成長期の大型景気、高度成長の要因を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 安定成長期以降の日本の産業構造の変化を理解できる			
	<input type="checkbox"/> バブル景気を生み出した要因を理解できる			
	<input type="checkbox"/> バブル崩壊の要因と、その後の日本経済を理解できる			
27. 中小企業・農業・消費者問題	<input type="checkbox"/> 諸問題を指摘し、解決するための国の役割を理解できる			
28. 資源・エネルギー問題・公害・環境問題	<input type="checkbox"/> わが国の環境対策について理解できる			
	<input type="checkbox"/> 地球環境問題に対する国際社会の取り組みを理解できる			
29. 労働運動の歩みと労働基本権	<input type="checkbox"/> 労働三法の内容が理解できる			
30. 労働の現状と課題	<input type="checkbox"/> 三大雇用慣行、女性労働者の現状などを理解できる			
31. 社会保障の歩み	<input type="checkbox"/> 社会保障の発展の歴史を把握できる			
	<input type="checkbox"/> 各国の社会保障の財源構成を理解できる			
	<input type="checkbox"/> わが国の社会保障の4つの柱を理解できる			
32. 社会保障の現状と課題	<input type="checkbox"/> 高齢化による、社会保障制度の見直しを理解できる			
33. 国際分業と貿易	<input type="checkbox"/> 比較生産費説を学び、自由貿易の利点を理解できる			
34. 外国為替と国際収支	<input type="checkbox"/> リストが保護貿易を主張する理由を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 円高・円安の要因、影響が理解できる			
35. 国際通貨体制	<input type="checkbox"/> 国際収支表の読み取りが出来る			
36. 世界の貿易体制	<input type="checkbox"/> 国際通貨体制の変化と IMF と IBRD の役割を理解できる			
37. 地域的経済統合	<input type="checkbox"/> GATT の3原則とその例外、WTO の違いを理解できる			
	<input type="checkbox"/> EU を中心に、各国の地域統合を把握できる			
38. 国際経済の諸問題と日本の役割	<input type="checkbox"/> 南北問題の要因とその解決の動きが理解できる			
	<input type="checkbox"/> ODA の内容と日本の ODA の特徴が理解できる			
	期末 考查	39. 青年期の意義と課題	<input type="checkbox"/> 青年期の特徴を理解できる	
		40. 生命の倫理	<input type="checkbox"/> 生命倫理における問題点や取り組みを理解できる	
		41. 環境の倫理	<input type="checkbox"/> 現代における環境問題を理解できる	
		42. 家族・地域社会・高度情報化の課題	<input type="checkbox"/> 現代社会におけるさまざまな課題に対する取り組みを理解できる	
		43. まとめ ・その他の分野の要点の整理 ・問題演習	<input type="checkbox"/> 防衛機制、欲求などを理解できる <input type="checkbox"/> 演習を通じて得点力を磨く。	
【学習上の留意点】 進度は目安です。学習単元も理解度によって前後します。				

教科 理数	科目 理数数学 I	4 単位	対象学年・コース 先端サイエンス・3年	
<p>【年間学習目標】</p> <p>*教科書の内容を正確に理解する。</p> <p>*理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。</p> <p>*授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学III 副教材 数研出版 クリアー 数学III</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学III 第1章 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド・モアブルの定理 4 複素数と図形	<input type="checkbox"/> 複素数平面の定義を理解できる。 <input type="checkbox"/> 複素数の絶対値、複素数の和 差 実数倍を複素数平面上で図示できる <input type="checkbox"/> 極形式の定義を理解し、複素数平面上に図示できる <input type="checkbox"/> 原点を中心とする回転移動を、複素数で表すことができる <input type="checkbox"/> ド・モアブルの定理を理解し、複素数の累乗および n 乗根を求めることができる <input type="checkbox"/> 図形の性質を、複素数で表すことができる	研究/3点 α, β, γ を頂点とする三角形
	期末考査	問題演習	共通テスト対策の問題演習 過去の入試問題を中心にした演習	
二 学 期	中間考査	問題演習	共通テスト対策の問題演習 過去の入試問題を中心にした演習	
	期末考査	問題演習	共通テスト対策の問題演習 過去の入試問題を中心にした演習	
<p>【学習上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。 ・大学入試に向けた演習では、考える過程を大切に、扱った問題は必ず解けるまで繰り返し復習する。 				

教科 理数 科目 理数数学II		4 単位	対象学年・コース 先端サイエンス・3年	
【年間学習目標】 *教科書の内容を正確に理解する。 *理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 *授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学III 副教材 数研出版 クリアー数学III				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学III 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法と部分積分法 3 いろいろな関数の不定積分 第2節 定積分 4 定積分とその基本性質 5 置換積分法と部分積分法 6 定積分のいろいろな問題	<input type="checkbox"/> 微分法の逆演算から不定積分を求める <input type="checkbox"/> 置換積分や部分積分を理解し計算できる <input type="checkbox"/> いろいろな関数の不定積分を工夫をして求められる <input type="checkbox"/> 種々の関数の定積分の計算方法を理解する <input type="checkbox"/> 定積分の置換積分法、部分積分法を理解し、その値を求められる <input type="checkbox"/> 区分求積法を理解し、利用できる	研究 / $\int_0^{\frac{\pi}{2}} e^x \sin x dx$ の値
	期末考査	第3節 積分法の応用 7 面積 8 体積 9 道のり 10 曲線の長さ	<input type="checkbox"/> 種々の曲線で囲まれた部分の面積を求められる <input type="checkbox"/> 媒介変数表示された曲線で囲まれた部分の面積を求められる <input type="checkbox"/> 立体の断面積を積分することで、体積を求められる <input type="checkbox"/> 回転体の体積を求める方法を理解できる <input type="checkbox"/> 媒介変数表示された曲線を回転させてできる立体の体積を求められる <input type="checkbox"/> 代表的な曲線の長さを求められる <input type="checkbox"/> 速度と道のりの関係より、平面上を運動する点の道のりを求められる	発展 / 微分方程式
二 学 期	中間考査	数学IIIの応用問題演習	過去の入試問題を中心にした演習	
	期末考査	数学IIIの応用問題演習	過去の入試問題を中心にした演習	
【学習上の留意点】 ・授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。 ・大学入試に向けた演習では、考える過程を大切に、扱った問題は必ず解けるまで繰り返し復習する。				

教科	理科	科目	理数物理	4単位	対象学年・コース	3年 先端サイエンスクラス
<p>【年間学習目標】 物理学的思考を身に着ける。 物理現象を理解し、数式を使って説明できる。 物理の問題の「解き方を記憶する」のではなく、「解き方を理解」し「問題を解く力」を身につける。</p>						
<p>【評価の観点】 「定期考査」・「物理学実験」・「授業への取り組む姿勢」で評価する。</p>						
<p>【使用教材】 教科書 : 物理基礎 (第一学習社) 物理 (第一学習社) 副教材 : 問題集 セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)</p>						
期	考査	単元名	学習内容・自己評価		備考	
第1学期	中間考査	磁場と電流	『磁場の性質一般』を覚える。 『レンツの法則』・『電磁誘導の法則』の現象を理解する。 『電流の作る磁場 (直線電流・円電流・ソレノイド)』を覚える。 『電流が磁場から受ける力』を覚える。 ◎「フレミングの左手の法則」・「ローレンツ力」の問題が解ける。 『マクスウェルの電磁誘導の法則』を覚える。 ◎「自己誘導・相互誘導」の問題が解ける			
	期末考査	原子と分子の運動 原子、電子と物質の性質	『トムソンの実験』・『ミリカンの油滴実験』・『光電効果』より電子について考える。 ◎「トムソンの実験」・「ミリカンの油滴実験」・「光電効果とエネルギー」の問題が解ける。 『ボーアの水素原子モデル』を覚える。 ◎「水素原子モデル」の計算ができる。		誘導コイル・磁石 放電管・磁石	
第2学期	中間考査	入試演習 (総合)				
	期末考査	入試演習 (総合)				
<p>【学習上の留意点】</p>						

教科 理数 科目 理数生物	4 単位	対象学年・コース 3年先端サイエンスクラス
---------------	------	-----------------------

【年間学習目標】

広く理工系を目指す人材として、科学・技術・社会の関連を意識し、生物・生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験・討論等を行い、探求する能力と態度を訓練するとともに、知識・理解の上に科学的な見方や考え方を養う。

- (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
- (4) 大学入試の問題に対して与えられた情報を適切に処理し、合格点を取れる答案作成の力を実装する。

【評価の観点】

- ・生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を説明できる。
- ・観察・実験・討論などに参加し、科学的な思考から意見や判断を言語化できる。
- ・個人と集団の間で主体的かつ協調的に行動できる。

以上の観点から、定期考査の素点、休業中の課題の完成度、観察・実験・討論などの報告書や各種提出課題（期限厳守）を含む授業と日常学習への取り組みの状況から、達成された学習状況を総合的に評価するものとする。

【使用教材】

- ・教科書：本川・谷本ら『生物 改訂版』『生物基礎 改訂版』啓林館。
- ・資料集：『スクエア最新図説生物 neo』第一学習社。 用語集：吉田ら『生物用語集 改訂版』駿台文庫。
- ・演習問題：第一学習社編集部編『セミナー生物』第一学習社。 各種模擬試験の問題と解説。
- ・その他：志望校合格に必要な過去問題集や実践問題集（共通テスト対策を含む）

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	第5部 生態と環境 第1章 個体群と生物群集 1. 個体群とその変動 2. 種内関係 3. 種間関係 4. 生物群集とその構造 第2章 生態系 1. 生態系と物質生産 2. 生態系と生物多様性	<input type="checkbox"/> 個体群の変動と個体群内の種内関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 個体群の特徴に個体間の関係が反映されることを理解する。 <input type="checkbox"/> 異種個体間の相互作用を理解する。 <input type="checkbox"/> 複数種類の個体群が相互関係を持ちながら集まって形成される生物群集の成り立ちや食物連鎖を理解する。 <input type="checkbox"/> 生態系における物質生産とエネルギー効率、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解する。 <input type="checkbox"/> 生物多様性の重要性、外来生物の影響による個体群の絶滅の可能性を考えられる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[9]生態と環境の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 コアセルベートの形成、胚膜の観察、選択がはたらく場合の遺伝子頻度の変動、DNAの塩基配列の違いにもとづく進化の推定、光合成生物の系統と光合成色素の関係
	期末考査	第4部 生物の進化と系統 第1章 生物の進化 1. 生命の起源と生命の変遷 2. 生物界の変遷と地球環境の変化	<input type="checkbox"/> 生命の起源と生物進化の道筋について理解する。 <input type="checkbox"/> 生物の進化に関係している地球環境の変化について理解する。	

	<p>3. 人類の起源と進化</p> <p><u>第2章 進化とそのしくみ</u></p> <p>1. 進化の証拠</p> <p>2. 生物の変異と進化</p> <p><u>第3章 生物の系統</u></p> <p>1. 生物の分類と系統</p> <p>2. 界とドメイン</p> <p>3. 細菌 (バクテリア) ドメイン</p> <p>4. 古細菌 (アーキア) ドメイン</p> <p>5. 真核生物ドメイン</p>	<p><input type="checkbox"/> 人類の出現を, 多様化した生物進化の一部としてとらえさせるとともに, 人類の進化を理解させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 生物の遺伝と進化のかかわりや進化の仕組みについて理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 生物は系統に基づいて分類できることを理解させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 界を分類する規準や界より上位のドメインを設定した規準について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 細菌ドメイン, アーキアドメイン, 真核生物の特徴とそれに含まれる生物を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[10]生物の進化 [11]生物の系統の問題演習により理解の程度を自己評価する。</p> <p><input type="checkbox"/> 夏季休業中に「生物基礎」「生物」の知識のインプットとその確認のための問題演習に取り組む。</p>	
二 学 期	<p>中間 考 査</p>	<p>高校生物 (生物基礎・生物) の総復習</p> <p><input type="checkbox"/> 大学入試問題 (共通テスト・国公立大・私立大) を自力で解くために必要な体系的な知識・理解 (知識力), 得点できる答案記述 (記述力), 図・グラフの分析を含む計算処理 (計算力) を完成させる。</p> <p>演習内容はおよそ以下の 12 項目に大別される。</p> <p>① 遺伝学の歴史 ② 生体物質と呼吸</p> <p>③ 遺伝子の働きと調節 ④ 同化作用</p> <p>⑤ 生体のつくり ⑥ 刺激と反応</p> <p>⑦ 生殖と細胞分裂 ⑧ 体液のはたらき</p> <p>⑨ 発生と形態形成 ⑩ 恒常性</p> <p>⑪ 進化と系統 ⑫ 個体群と生態系</p>	<p>最新の入試動向を考慮した問題演習 (紙面上での実験・データ処理を含む) を行う。</p> <p>各個人の志望校合格に必要なインプットとアウトレットは別に追加すること。</p>
	<p>期 末 考 査</p>	<p>高校生物 (生物基礎・生物) の総復習</p>	
<p>【学習上の留意点】</p> <p>授業を中心とした学習方法 (予習・復習の仕方やデジタル学習材の活用法など) については授業担当教員に確認してください。生物と生物現象の理解・探求には概念や知識のインプットとそれらを活用するアウトプットの両方が必要です。『セミナー生物基礎』『セミナー生物』と各自の志望校合格に必要な参考書 (副読本)・問題集・資料集 (図説) を使い、インプットとアウトプットを繰り返しましょう。模擬試験は受験前の準備、受験、受験後の復習の 3 段階を意識し、1 学期は苦手分野の攻略を、2 学期は得意分野の完成を目指しましょう。</p>			

教科 理数	科目 理数化学	4単位	先端サイエンスクラス	
<p>【年間学習目標】 化学的な事物・現象についての観察, 実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p>				
<p>【評価の観点】 ・自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 以上の観点から、定期考査、長期休業課題、実験報告書等の成績ならびに授業の取組み状況から評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書；第一学習社 高等学校 化学基礎、 第一学習社 高等学校 化学 副教材；浜島書店 ニューステージ 化学図表 スタディサプリ 高3スタンダードレベル化学<理論編>前編・後編 スタディサプリ 高3スタンダードレベル化学<有機編> 問題集；第一学習社 セミナー 化学基礎+化学</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中間考査	第IV章 有機化合物 第5節 有機化合物と人間生活 1. 暮らしを彩る有機化合物 2. 単糖と二糖 3. アミノ酸 第V章 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 1. デンプンとセルロース 2. タンパク質 3. 天然繊維と天然ゴム 4. 核酸 第1節 合成高分子化合物 1. 高分子化合物の構成 2. 合成樹脂 3. 合成繊維 第3節 高分子化合物と人間生活 1. 機能性高分子化合物 2. 合成ゴム	<input type="checkbox"/> 代表的な医薬品、染料、洗剤などの主な成分について学ぶ。 <input type="checkbox"/> 単糖、二糖の構造と性質を学習し、多糖との関連を理解する。 <input type="checkbox"/> α -アミノ酸とタンパク質の性質や反応が、その構造に特徴づけられることを学習する <input type="checkbox"/> 天然高分子化合物の構造や性質について理解する。 <input type="checkbox"/> 核酸の構造と働きを理解する。 <input type="checkbox"/> 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解する。 <input type="checkbox"/> 高分子化合物が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 機能性高分子の特徴とその役割を学ぶ。	
	期末考査	復習ならびに入試対策演習		※ 入試問題を用いたプリント演習を行う。
2 学 期	中間考査	復習ならびに入試対策演習		
	期末考査	復習ならびに入試対策演習		
<p>【学習上の留意点】 ・学習進度は状況に応じて、変更がある場合がある。また、プリント等を用いた演習を必要に応じて行う。 ・実験・観察は理科の学習の基本であり、重視している。</p>				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスコースマーカーなどを利用しながら、段落の趣旨が捕らえられる力を身につける。 ・各段落の役割を理解しながら、文章全体を理解する力を身につける。 ・授業内で扱う文章に関して、趣旨を英語で表現したり、それに対して意見を述べる力を養う。 ・大学入試過去問題を解きながら、様々なジャンルの背景知識を養う。 ・大学入学共通テストレベルのリスニング力を身につける。 				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考查、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>主教材 ・『Element Communication English Ⅲ』（啓林館） ・『SDGs 英語長文』（三省堂） ・『Listening Essentials 2』（啓隆社） ・共通テスト 英語 40分プレート</p>				
1 学 期	中間 考 査	<p><SDGs 英語長文> Lesson 1 ～ Lesson 3</p> <p><ELEMENT> Lesson 1 ～ Lesson 3</p>	<p><SDGs 英語長文> 1. Water Crisis 2. Palm Oil 3. Plastic Waste</p> <p><ELEMENT> 1. Lies, Damned, and Statistics 2. Language Extinction 3. Environment or Orangutans?</p>	<p>適時、授業開始時にリスニング指導を入れる (L1～L5)</p> <p>共通テーマの大学入試問題等を扱う</p>
	期末 考 査	<p><SDGs 英語長文> Lesson 4 ～ Lesson 6</p> <p><ELEMENT> Lesson 4 ～ Lesson 6</p>	<p><SDGs 英語長文> 4. Refugees 5. Natural Disasters 6. Gender Equality</p> <p><ELEMENT> 4. The Truth about Grit 5. A Class from Stanford University 6. The Mpemba</p>	<p>適時、授業開始時にリスニング指導を入れる (L6～L10)</p> <p>共通テーマの大学入試問題等を扱う</p>

教科 英語 科目 英語演習A		4単位	対象学年・コース 3年 S コース	
【年間学習目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・様々なトピックの英文を読み、英文速読力を高める。 ・入試問題を解くことにより、解答作成力を高める。 ・大学入試に必要な知識・考え方を身につける。 ・大学入試過去問題を解くことにより、様々なジャンルの背景知識を身につける。 				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。				
【使用教材】 教材 『英語長文問題演習【入門編】—合格のための極意 12』（桐原書店）1学期 『英語長文問題演習【必修編】—合格のための極意 12』（桐原書店）2学期				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間 考 査	『英語長文問題演習 【入門編】 —合格のための極意 12』 1 ～ 6	1 Being left-handed gives me… 2 Many people don't know… 3 In the early spring, … 4 Many dreams, at least… 5 In 2009, there were… 6 American researchers say…	パラグラフ毎に内容を理解する力を身につける。
	期末 考 査	『英語長文問題演習 【入門編】 —合格のための極意 12』 9 ～ 12	7 Many countries are going… 8 It's natural to greet friends… 9 From Thailand to Finland, … 10 Cycling is the most popular… 11 Stay-at-home dads are… 12 Who counts as a scientist?…	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考查	『英語長文問題演習 【必修編】 —合格のための極意 12』 1 ~ 8	1 One of the most fascinating… 2 Some cat owners… 3 The Tangu, who… 4 Today we have discovered… 5 As our culture races… 6 Strangely enough…	長文読解力及び問題 への解答法を身につ ける。
	期末 考查	『英語長文問題演習 【必修編】 —合格のための極意 12』 9 ~ 12	7 In the United States… 8 The years 2007 - 2008… 9 As well as protecting… 10 Our bodies are… 11 Darwin was the first… 12 There once was a village…	

【学習上の留意点】

- ※ 家庭学習において、長文問題を解いてから授業に臨む。解答時間を設定して取り組む。
- ※ 予習：長文問題を解く。
授業：長文の内容・構造を理解する。
復習：文構造・語句を整理する。

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など） 	<p>集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。</p>
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<p>身のこなしや体の調子を整えさせる。</p>
体育祭練習	<ul style="list-style-type: none"> ・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目） 	<p>集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。</p>
男子	学習内容	ねらい
剣 道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合 	<p>剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。</p>
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走 {外周コース（1周700m）を2～5周} 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。</p>
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム 	<p>サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。</p>
バードゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> ・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ 	<p>基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレーの精神を養う。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフENSE・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習 	<p>基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。</p>

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフENS・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。